

# I 日本赤十字社徳島県支部事務局



# I 日本赤十字社徳島県支部

## I 支部事務局の概要

### 1 沿革

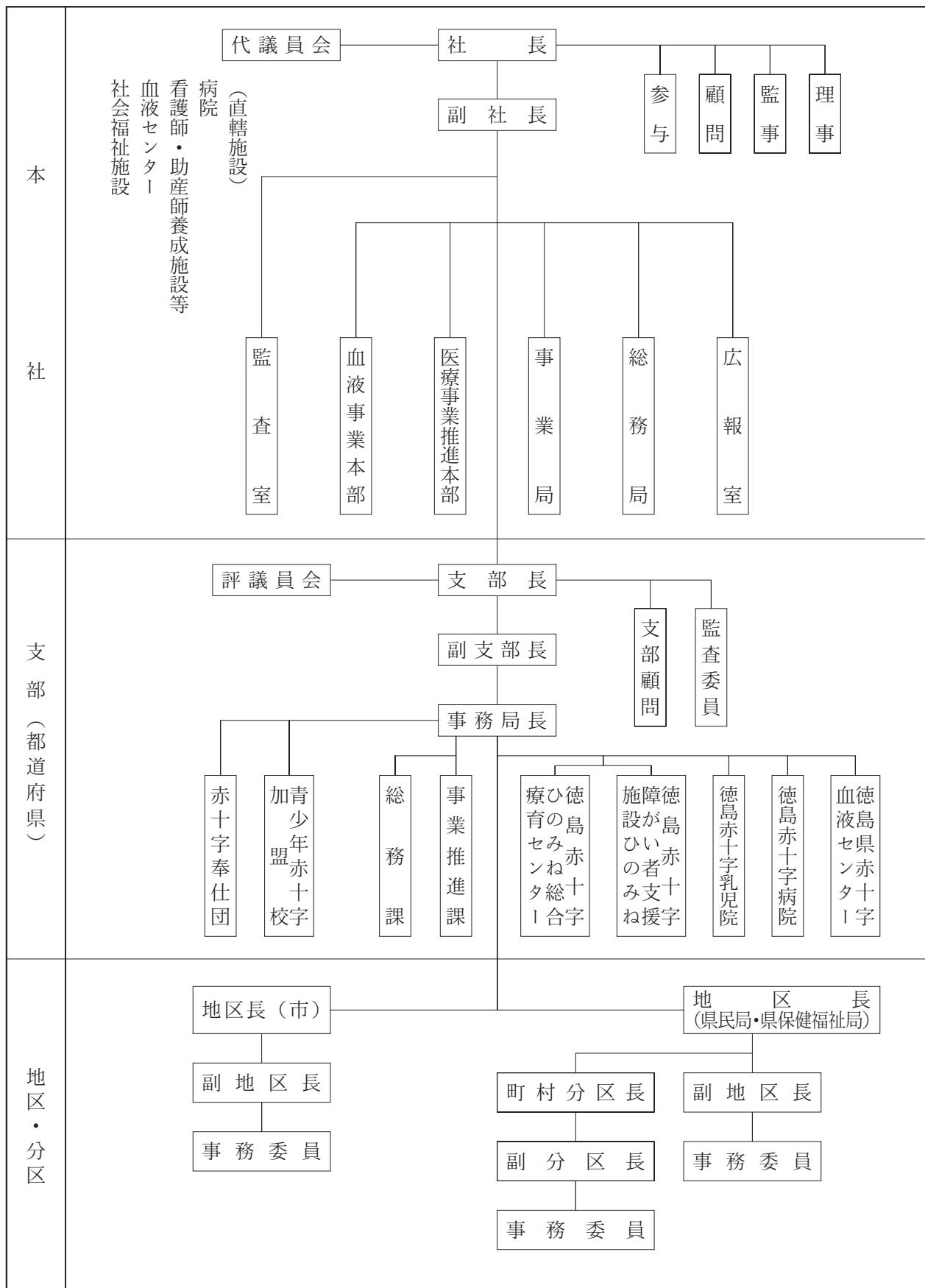
年月日	事項
明治20. 10. 28	四国の他の3県にさきがけ日本赤十字社徳島県委員部として創立、初代委員長に酒井明氏が就任
27. 11. 27	日本赤十字社徳島県委員部は各県に支部制がしつけられ、日本赤十字社徳島支部と改称
昭和20. 7. 4	初代支部長に村上義雄氏が就任
	徳島本町にあった支部社屋が戦災により焼失し、翌5日に北常三島町2丁目の民家を借り業務を開始
22. 9. 27	初の民間人支部長に奥村嘉蔵氏が就任
23. 9. 1	徳島本町の旧敷地内に木造平屋の支部社屋を再建
27. 10. 31	新定款の制定により日本赤十字社徳島県支部と改称
35. 3. 13	徳島市新蔵町1丁目の県有地 647.20 m <sup>2</sup> を借受け、鉄筋コンクリート3階建（一部4階）延面積 953.35 m <sup>2</sup> の支部社屋を建設
42. 1. 6	奥村嘉蔵氏死去により支部長辞任
6. 3	第38代支部長に武市恭信氏が就任
56. 10. 12	武市恭信氏、支部長辞任
13	第39代支部長に三木申三氏が就任
58. 11. 26	徳島市庄町3丁目12-1の県有地 3,378.81 m <sup>2</sup> を借受け、鉄筋コンクリート3階建の本館延面積 861.84 m <sup>2</sup> 及び鉄筋平屋建の倉庫及び車庫延面積 280.58 m <sup>2</sup> 、合計延面積 1,142.42 m <sup>2</sup> の新社屋建設 ※同県有地内に血液センター社屋及び車庫総延面積 2,559.96 m <sup>2</sup> も同時建設
59. 3. 10	徳島市新蔵町1丁目の旧社屋を解体
62. 11. 25	名誉副総裁三笠宮妃殿下をお迎えして支部創立百周年記念赤十字大会を開催
平成5. 10. 4	三木申三氏、支部長辞任
5	第40代支部長に圓藤寿穂氏が就任
9. 7. 23	皇太子殿下・同妃殿下をお迎えして第33回献血運動推進全国大会を開催
14. 3. 17	圓藤寿穂氏、支部長辞任
18	第40代支部長職務代理に副支部長藤野井親仁氏が就任
5. 22	第41代支部長に大田正氏が就任
15. 5. 29	大田正氏、支部長辞任
6. 4	第42代支部長に飯泉嘉門氏が就任
16. 9. 9	吉野川市鴨島町に赤十字防災センターを設置
19. 12. 6	名誉副総裁高円宮妃殿下をお迎えして支部創立百二十周年記念赤十字大会を開催

年 月 日	事 項
平成23. 9. 8	板東俘虜収容所跡地（鳴門市ドイツ村公園）に「赤十字ゆかりの地モニュメント」を設置
27. 5. 1	支部事務局1階玄関ホールに「赤十字展示コーナー」を設置
29. 4. 22 ～6. 11	支部創立130周年記念展「今に生きる『人道博愛の心』—美術に見る日本赤十字社の歩み—」を徳島県立近代美術館で開催
9. 7	海部郡牟岐町に赤十字南部救護倉庫を設置
12. 6	名誉副総裁寛仁親王妃信子殿下をお迎えして支部創立百三十周年記念赤十字大会を開催
30. 3. 31	吉野川市鴨島町の赤十字防災センターを廃止
4. 24	「とくしま赤十字災害救護サポートセンター」を開所

## 2組 織

### 日本赤十字社の組織

(令和2年4月1日現在)



### 3 役員・評議員

#### (1) 役員名簿

(令和2年4月1日現在)

役職名	氏名	住所	備考
支 部  役 員	支部長	飯泉嘉門	徳島市万代町 徳島県知事
	副支部長	遠藤彰良	徳島市幸町 徳島市長
		坂口博文	那賀郡那賀町 徳島県町村会長・那賀町長
		西宮映二	徳島市西船場2 徳島県赤十字有功会長 (株)阿波銀行相談役
	監査委員	原孝仁	鳴門市撫養町 公認会計士
		川長光男	阿南市柳島町 元徳島県町村会常務理事
	顧問	小森将晴	鳴門市北灘町 元日本赤十字社徳島県支部事務局長

本 社 役 員	理 事 ・ 代 議 員	西宮映二	徳島市西船場2	日本赤十字社徳島県支部副支部長 (株)阿波銀行相談役
		川島周	徳島市北佐古1	川島ホスピタルグループ会長 徳島県赤十字有功会副会長

(2) 評議員名簿

(任期 平成31年2月14日～令和4年2月13日)

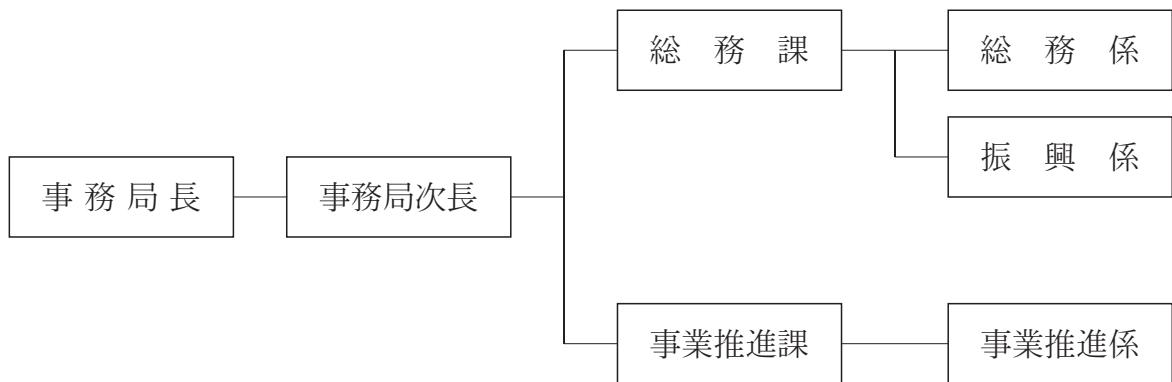
(令和2年4月1日現在)

選出地区名	氏 名	住 所	備 考
徳島市	寺 内 カツコ	徳島市南末広町	徳島商工会議所会頭
	宇都宮 正 登	徳島市幸町3	徳島市医師会長
	植 田 和 俊	徳島市中徳島町2	徳島新聞社役 相談役
	森 秀 司	徳島市北田宮1	徳島県歯科医師会長
	板 東 恵 子	徳島市南沖洲	徳島市地区赤十字奉仕団委員長
鳴門市	泉 理 彦	鳴門市撫養町	鳴門市長
	矢 野 壽美子	鳴門市撫養町	鳴門市地区赤十字奉仕団委員長
小松島市	濱 田 保 德	小松島市横須町	小松島市長
	畠 山 ツミ子	小松島市和田島町	小松島市地区赤十字奉仕団委員長
阿南市	表 原 立 磨	阿南市富岡町	阿南市長
	紅 露 清 恵	阿南市桑野町	阿南市地区赤十字奉仕団委員長
吉野川市	原 井 敬	吉野川市鴨島町	吉野川市長
	喜 島 寧 子	吉野川市鴨島町	吉野川市地区赤十字奉仕団委員長
阿波市	藤 井 正 助	阿波市市場町	阿波市長
美馬市	藤 田 元 治	美馬市穴吹町	美馬市長
三好市	黒 川 征 一	三好市池田町	三好市長

選出地区名	氏 名	住 所	備 考
東 部	野 上 武 典	勝浦郡勝浦町	勝 浦 町 長
	小 林 智 仁	名西郡石井町	石 井 町 長
	古 川 保 博	板野郡北島町	北 島 町 長
	高 橋 英 夫	板野郡藍住町	藍 住 町 長
	玉 井 孝 治	板野郡板野町	板 野 町 長
南 部	坂 口 博 文	那賀郡那賀町	那 賀 町 長
	影 治 信 良	海部郡美波町	美 波 町 長
西 部	兼 西 茂	美馬郡つるぎ町	つ る ぎ 町 長
	松 浦 敬 治	三好郡東みよし町	東 み よ し 町 長
支部長選出	西 宮 映 二	徳島市西船場 2	徳島県赤十字有功会長 (株)阿波銀行 相談役
	中 西 庄次郎	徳島市北佐古 1	JA 徳島中央会長
	仁井谷 興 史	徳島市万代町 1	徳島県保健福祉部長
	藤 田 育 美	美馬市脇町	赤十字奉仕団徳島県 支 部 委 員 長
	臼 井 公 仁	名西郡石井町	青少年赤十字徳島県 指 導 者 協 議 会 長

## 4 支 部 事 務 局

### (1) 組 織



(2) 職員の現員 (令和2年4月1日現在) 9名

## II 重 点 事 項

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という日本赤十字社の使命に基づき、各種人道活動を展開した。

### 1 赤十字思想の普及、赤十字会員等・社資（赤十字活動支援費）の増強

#### (1) 年間を通した広報活動の推進

県内各地の幹線道路沿いに設置している赤十字看板や、のぼり、ケーブルテレビ等を活用して地域に根ざした広報活動を展開するとともに、新聞やホームページ等様々な媒体による情報発信を行い、「赤十字活動の見える化」を推進した。

#### (2) 「赤十字フラッグキャンペーン」の実施

5月の赤十字運動月間に、県庁前ヨットハーバー「ケンチョピア」停泊中のヨットへの赤十字フラッグ掲揚に加え、新たに、徳島の玄関口である「徳島駅前一番町商店街」の沿道ポールにバナーフラッグを掲げることにより、赤十字思想の普及に努めた。

#### (3) 「赤十字レッドライトアッププロジェクト」の実施

世界赤十字デーの5月8日から10日間にわたり、鳴門市役所本庁舎を赤十字カラーである赤色のライトで照らすとともに、大型のスローガン看板を設置し、赤十字運動月間の啓発に努めた。

#### (4) 「赤十字ゆかりの地」を活用した人道精神の普及・啓発

板東俘虜収容所跡地に設置した「赤十字ゆかりの地モニュメント」や赤十字人道紙芝居「ばんどうのコスマス」を活用した人道学習や人権研修を行い、赤十字思想の普及・啓発を図った。

#### (5) 「赤十字事業説明バス」の実施

地域での赤十字活動に深い関わりのある赤十字奉仕団員や自治会、町内会役員等を対象に「赤十字事業説明バス」を実施した。

#### (6) 時代に応じた寄付制度の普及・啓発

超高齢社会におけるライフプランに応じた赤十字支援の方法（遺産や相続財産の寄付、御香典からの寄付等）について、関係機関の協力を得ながら積極的な情報発信に努めた。

#### (7) 「赤十字の集い」の開催

県内の赤十字関係者を一堂に会して「赤十字の集い」を開催し、更なる社業の進展を図った。

(8) 「赤十字活動支援自動販売機」の設置推進

有功会や地区・分区、管内赤十字施設の協力を得て、赤十字活動支援自動販売機を新たに9台設置し、身近で手軽に赤十字支援ができる環境整備を図った。

## 2 災害救護体制の充実・強化

(1) 災害救護訓練等への参加

鳥取県で開催された日本赤十字社中国・四国各県支部合同災害救護訓練に参加し、赤十字独自のネットワーク力を活用した中国・四国各県支部との相互支援体制の確立と救護班要員の知識・技術の向上を図った。

また、県内で開催された各種災害対応訓練に積極的に参加し、行政や防災機関との連携強化に努めた。

(2) 救護班要員研修の実施

救護班要員を対象に、災害救護活動に必要な知識・技術の習得や救護装備等の取扱についての研修を実施した。

また、海部郡牟岐町に設置している赤十字南部救護倉庫において、救護班主事による災害対策本部運営訓練を実施した。

(3) 災害時活動用テントの配備

地域における災害時の支援活動や平時の防災訓練等に活用できる折りたたみ式テント21張を追加配備し、地域の防災力・災害対応力の向上を図った。

(4) 大規模災害時における避難者支援の強化

大規模災害時の長期避難生活において、特に支援が必要となる乳児及び高齢者に特化した仕様の「段ボールベッド」を新たに整備した。

(5) 地域における防災・減災事業の推進

地域における「自助」「共助」の力を高めるために、赤十字防災セミナーを実施し、災害の基礎知識や災害への備えについての講話をはじめ、災害時高齢者生活支援講習や災害時の救急法等を通して、防災・減災力の向上に努めた。

## 3 赤十字救急法等の普及活動

(1) 新たな赤十字救急法講習の普及

新たな救急法講習として、止血帯を用いた応急手当や低血糖への対応、脳卒中の早期認識等についての知識と技術の普及に努めた。

(2) 対象のニーズに合わせた各種講習会の開催

心肺蘇生とAEDの一次救命処置を中心とした救急法をはじめ、水の事故防止

に関する講習や、高齢者・乳幼児に焦点を当てた講習等、対象のニーズに合わせた各種赤十字講習を行い、いのちと健康を守るための知識と技術の普及を図った。

また、幼児安全法指導員を新たに養成し、幼児安全法指導体制の充実・強化に努めた。

#### 4 赤十字奉仕団活動

##### (1) 赤十字奉仕団の活性化

地域に根ざした赤十字のボランティア活動を広く周知するとともに、新たな奉仕団員を募集するためのリーフレットを作成するなど、奉仕団活動の活性化に努めた。

##### (2) 災害に強い地域づくりへの貢献

赤十字が県内各地域に配備している「災害用移動炊飯器」や「災害時活動用テント」を活用した炊き出し訓練等を開催し、地域の防災力向上に努めた。

##### (3) 特殊赤十字奉仕団の特技を活かした訓練の実施

赤十字船舶奉仕団による救援物資の水上輸送訓練をはじめ、赤十字救護救援奉仕団による夜間炊き出し訓練や赤十字バイク奉仕団による走行訓練など、各奉仕団の特技を活かした訓練を実施し、技能の維持向上に努めた。

#### 5 青少年赤十字

##### (1) 青少年赤十字の加盟促進等

「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標を掲げる青少年赤十字を普及するため、県下の幼稚園を対象に加盟促進を図った。

また、小中高の加盟校では、防災教育やリサイクル活動等を通して、「気づき・考え・実行する」青少年赤十字活動を実施した。

##### (2) 青少年赤十字国際支援学習の実施

赤十字国際救護員を青少年赤十字加盟校に派遣し、紛争や貧困に苦しむ海外の子供たちの現状を救護活動の実体験を交えて講義することにより、児童・生徒の国際社会への関心と理解促進に努めた。

#### 6 国際活動

##### (1) 中東地域紛争犠牲者支援事業（ヨルダン）への救護員の派遣

平成31年1月8日から令和元年9月5日まで、65万人以上のシリア難民を受け入れているヨルダンへ、地域参加型の保健事業の保健要員として、国際救護員

である看護師1名を派遣した。

(2) アジア・大洋州地域に対する給水・衛生活動の支援

日本赤十字社中国・四国各県支部と連携し、アジア・大洋州地域における「給水・衛生キット」の配備をはじめとした給水・衛生活動の支援を行った。

### III 事業の実施状況

#### 1 赤十字思想の普及、赤十字会員等・社資（赤十字活動支援費）の増強

社資募集をとりまく環境は厳しい状況が続いているが、5月の「赤十字運動月間」を中心に地区・分区や赤十字奉仕団、赤十字協賛委員、赤十字有功会、各種ボランティア等の協力と社員の支援を得て、次のとおり実績をあげることができた。

##### (1) 社資募集実績表

項目	目標額	実績額	達成率
一般社資	139,000,000 円	131,041,415 円	94.3 %
内訳	社費	129,000,000	105,128,654
	寄付金	9,000,000	24,837,761
	指定寄付金	1,000,000	1,075,000
法人社資	18,000,000	66,714,750	370.6
内訳	指定寄付金	0	—
	その他社資	18,000,000	66,714,750
合計	157,000,000	197,756,165	126.0

※ 達成率は小数第2位を四捨五入

(2) 地区別社費実績表

年度別 地区名	令和元年度			平成30年度		
	目標額	実績額	達成率	目標額	実績額	達成率
徳島市 地区	円 44,493,000	円 26,932,896	% 60.5	円 44,258,000	円 26,999,210	% 61.0
鳴門市 地区	9,614,000	8,899,925	92.6	9,663,000	8,961,557	92.7
小松島市 地区	6,258,000	2,262,050	36.1	6,292,000	2,296,550	36.5
阿南市 地区	11,798,000	11,364,866	96.3	11,796,000	11,517,143	97.6
吉野川市 地区	6,633,000	6,270,300	94.5	6,663,000	6,441,400	96.7
阿波市 地区	5,878,000	5,022,800	85.5	5,899,000	5,112,200	86.7
美馬市 地区	4,817,000	4,204,100	87.3	4,853,000	4,186,600	86.3
三好市 地区	4,274,000	5,312,500	124.3	4,356,000	4,982,956	114.4
東部地区	22,825,000	13,154,112	57.6	22,694,000	13,384,223	59.0
南部地区	4,678,000	4,563,521	97.6	4,756,000	4,894,289	102.9
西部地区	3,732,000	3,944,320	105.7	3,770,000	4,174,800	110.7
その他	4,000,000	13,197,264	329.9	4,000,000	13,787,464	344.7
計	129,000,000	105,128,654	81.5	129,000,000	106,738,392	82.7

※1 達成率は小数第2位を四捨五入

※2 「その他」については、日本赤十字社徳島県支部扱いの社費協力

(3) 分区別社費実績表

年度別 地区・分区名	令和元年度			平成30年度			
	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	
徳島市地区	44,493,000	26,932,896	60.5	44,258,000	26,999,210	61.0	
鳴門市地区	9,614,000	8,899,925	92.6	9,663,000	8,961,557	92.7	
小松島市地区	6,258,000	2,262,050	36.1	6,292,000	2,296,550	36.5	
阿南市地区	11,798,000	11,364,866	96.3	11,796,000	11,517,143	97.6	
吉野川市地区	6,633,000	6,270,300	94.5	6,663,000	6,441,400	96.7	
阿波市地区	5,878,000	5,022,800	85.5	5,899,000	5,112,200	86.7	
美馬市地区	4,817,000	4,204,100	87.3	4,853,000	4,186,600	86.3	
三好市地区	4,274,000	5,312,500	124.3	4,356,000	4,982,956	114.4	
東部地区	勝浦町分区	834,000	961,600	115.3	844,000	1,025,400	121.5
	上勝町分区	255,000	287,000	112.5	258,000	288,100	111.7
	佐那河内村分区	359,000	486,100	135.4	363,000	485,100	133.6
	石井町分区	4,178,000	2,736,700	65.5	4,169,000	2,814,400	67.5
	神山町分区	838,000	915,250	109.9	853,000	986,550	115.7
	松茂町分区	2,524,000	1,605,604	63.6	2,508,000	1,706,000	68.0
	北島町分区	3,858,000	1,515,698	39.3	3,800,000	1,353,253	35.6
	藍住町分区	5,897,000	2,026,160	34.4	5,832,000	2,080,620	35.7
	板野町分区	2,162,000	1,094,400	50.6	2,147,000	1,191,400	55.5
	上板町分区	1,920,000	1,525,600	79.5	1,920,000	1,453,400	75.7
南部地区	計	22,825,000	13,154,112	57.6	22,694,000	13,384,223	59.0
	那賀町分区	1,342,000	1,370,900	102.2	1,358,000	1,513,985	111.5
	美波町分区	1,125,000	1,079,120	95.9	1,148,000	1,099,000	95.7
	牟岐町分区	685,000	732,101	106.9	699,000	834,504	119.4
	海陽町分区	1,526,000	1,381,400	90.5	1,551,000	1,446,800	93.3
西部地区	計	4,678,000	4,563,521	97.6	4,756,000	4,894,289	102.9
	つるぎ町分区	1,452,000	1,593,500	109.7	1,485,000	1,785,500	120.2
	東みよし町分区	2,280,000	2,350,820	103.1	2,285,000	2,389,300	104.6
その他	計	3,732,000	3,944,320	105.7	3,770,000	4,174,800	110.7
	計	4,000,000	13,197,264	329.9	4,000,000	13,787,464	344.7
	計	129,000,000	105,128,654	81.5	129,000,000	106,738,392	82.7

※1 達成率は小数第2位を四捨五入

※2 「その他」については、日本赤十字社徳島県支部扱いの社費協力

(4) 年度別社資実績状況

年度	項目	目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)
平成27年	一般社資	140,000,000	172,912,174	123.5
	社費	130,000,000	101,724,339	78.2
	寄付金	9,000,000	67,716,181	752.4
	指定寄付金	1,000,000	3,471,654	347.2
	法人社資	17,000,000	46,260,953	272.1
	指定寄付金	2,000,000	2,000,000	100.0
	その他社資	15,000,000	44,260,953	295.1
	計	157,000,000	219,173,127	139.6
平成28年	一般社資	140,000,000	169,259,840	120.9
	社費	130,000,000	98,007,858	75.4
	寄付金	9,000,000	71,251,982	791.7
	指定寄付金	1,000,000	0	0
	法人社資	40,000,000	70,488,465	176.2
	指定寄付金	29,000,000	29,000,000	100.0
	その他社資	11,000,000	41,488,465	377.2
	計	180,000,000	239,748,305	133.2
平成29年	一般社資	146,000,000	223,285,397	152.9
	社費	130,000,000	99,122,099	76.2
	寄付金	15,000,000	123,163,298	821.1
	指定寄付金	1,000,000	1,000,000	100.0
	法人社資	22,000,000	42,558,803	193.4
	指定寄付金	2,000,000	2,000,000	100.0
	その他社資	20,000,000	40,558,803	202.8
	計	168,000,000	265,844,200	158.2
平成30年	一般社資	139,000,000	213,897,523	153.9
	社費	129,000,000	106,738,392	82.7
	寄付金	9,000,000	106,094,131	1,178.8
	指定寄付金	1,000,000	1,065,000	106.5
	法人社資	18,000,000	52,915,497	294.0
	指定寄付金	2,000,000	2,000,000	100.0
	その他社資	16,000,000	50,915,497	318.2
	計	157,000,000	266,813,020	169.9
令和元年	一般社資	139,000,000	131,041,415	94.3
	社費	129,000,000	105,128,654	81.5
	寄付金	9,000,000	24,837,761	276.0
	指定寄付金	1,000,000	1,075,000	107.5
	法人社資	18,000,000	66,714,750	370.6
	指定寄付金	0	0	—
	その他社資	18,000,000	66,714,750	370.6
	計	157,000,000	197,756,165	126.0

※ 達成率は小数第2位を四捨五入

## (5) 年間を通した広報活動の強化

### ① 「赤十字看板」による広報

交通量の多い幹線道路沿いへの赤十字看板の設置を継続し、「いのちと健康、尊厳を守る」という日本赤十字社の使命と、その活動原資が赤十字活動支援費であることを啓発した。

### ② 地域に根ざした広報活動の展開

赤十字運動月間を中心に、地域の人々が集まる公共施設等に地区・分区、赤十字奉仕団等の協力を得て「赤十字のぼり」を設置するとともに、四国放送及び県内ケーブルテレビ局の協力を得てスポットCMを放送するなど、地域に根ざした広報活動を展開した。

## (6) 「赤十字フラッグキャンペーン」の実施

5月の赤十字運動月間に、「ケンチャピア」に停泊中のヨットに赤十字フラッグを掲げるとともに、新たな取り組みとして「徳島駅前一番町商店街」に立ち並ぶ20本のポールにバナーフラッグを設置して、赤十字思想の普及を図った。



徳島駅前一番町商店街で実施したフラッグキャンペーン

## (7) 「赤十字レッドライトアッププロジェクト」の実施

世界赤十字デーの5月8日から10日間、全国同時展開事業である「赤十字レッドライトアッププロジェクト」を県内で初めて実施した。

鳴門市の協力を得て、鳴門市役所本庁舎の西側壁面を赤十字カラーである赤色のライトで照らすとともに、大型のスローガン看板を設置し、赤十字運動月間の普及・啓発に努めた。



鳴門市で実施したレッドライトアッププロジェクト

## (8) 「赤十字ゆかりの地」を活用した人道精神の普及・啓発

第一次世界大戦期に板東俘虜収容所で展開された人道的な史実を描いた紙芝居「ばんどうのコスマス」や、収容所跡地に設置した「赤十字ゆかりの地モニュメント」を活用した人道学習等を、青少年赤十字や赤十字奉仕団を中心に積極的に実施し、人道精神の普及を図った。

なお、紙芝居の上演状況は次のとおりである。



赤十字ゆかりの地を訪れた山形県赤十字奉仕団

実施内容	実施回数(回)	参加者数(名)
小学校や地域等での「赤十字人道紙芝居」の上演活動	6	316
鳴門市内の小学校に対する人道学習支援活動	4	158
県外の赤十字奉仕団等による赤十字ゆかりの地 モニュメント等への見学受入	4	90
合 計	14	564

#### (9) 「赤十字事業説明バス」の実施

地域で赤十字活動に深い関わりのある赤十字奉仕団や自治会、町内会、自主防災組織のリーダー等を対象に、「赤十字事業説明バス」を5回実施した。

赤十字の仕組みと活動に関する説明や、とくしま赤十字災害救護サポートセンターの見学、非常食の炊き出し体験等を行うとともに、赤十字講習コース、鳴門市・赤十字ゆかりの地コース、小松島市・徳島赤十字病院コースから一つを選択しての見学プログラムを通して、赤十字活動への理解促進に努めた。

なお、実施状況は次のとおりである。



災害用移動式炊飯器の説明を受ける参加者

No.	実施年月日	対象	コース	参加者数(名)
1	令和元年6月4日	南部地区牟岐町赤十字奉仕団	徳島赤十字病院見学コース	32
2	6月25日	美波町婦人会	〃	30
3	7月9日	吉野川市種野婦人会	赤十字ゆかりの地見学コース	34
4	8月26日	徳島市地区新町分区	徳島赤十字病院見学コース	22
5	10月31日	八万婦人会	〃	38
参 加 者 合 計				156

## (10) 時代に応じた寄付制度の普及・啓発

超高齢社会を迎え、御香典の寄付や相続財産の寄付、遺贈等の相談が多く寄せられている中で、ライフプランに応じた赤十字支援の方法について、ホームページでの広報活動を行うとともに、関係機関へパンフレットを提供するなど積極的な情報発信を行った。



遺贈等について紹介したパンフレット

## (11) 「赤十字の集い」の開催

赤十字奉仕団等関係者を一堂に会して「赤十字の集い」を開催し、赤十字活動に功労のあった方々への顕彰を行い、感謝の気持ちをお伝えするとともに、地域に根ざした赤十字活動の更なる進展を図った。

- ① 開催日 令和元年10月23日（水）
- ② 場 所 あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）
- ③ 内 容 • 赤十字功労者表彰式  
(表彰受章者：日本赤十字社社長感謝状6名、金色有功章48名、銀色有功章64名、日赤徳島県支部長感謝状175名 計293名)
  - 赤十字奉仕団活動用ユニフォームの贈呈
  - 赤十字奉仕団活動報告  
南部地区牟岐町赤十字奉仕団  
委員長 石本 知恵子
  - 特別講演「人の品格とは」  
俳 優 篠井 英介 氏



特別講演を行う  
俳優 篠井 英介 氏

## (12) 「赤十字活動支援自動販売機」の設置推進

赤十字有功会や赤十字奉仕団、地区・分区、管内赤十字施設の協力を得て、赤十字活動支援自動販売機を新たに9台設置し、身近で手軽に赤十字支援ができる環境を整備した。

また、自動販売機の表面に赤十字マークや人道活動の内容をデザインすることにより、赤十字活動の啓発に努めた。

なお、設置状況は次のとおりである。



国道192号線沿いに設置した  
赤十字活動支援自動販売機

(令和2年3月31日現在)

No.	市町村名	設置場所	No.	市町村名	設置場所
1	徳島市	株式会社阿波銀行 本店	44	小松島市	徳島赤十字病院
2		株式会社阿波銀行 本店	45		徳島赤十字病院*
3		株式会社阿波銀行 本店	46		徳島赤十字病院*
4		株式会社阿波銀行 新町ビル前公園*	47	阿南市	日亜化学工業株式会社
5		株式会社阿波銀行 福島支店	48		日亜化学工業株式会社
6		株式会社阿波銀行 両国橋支店	49		阿南川島クリニック
7		株式会社阿波銀行 川内支店*	50		キョーエイ 羽ノ浦店
8		株式会社阿波銀行 徳島北支店	51		本庄公会堂
9		株式会社阿波銀行 相談アザ	52		長生町自販機コーナー
10		株式会社阿波銀行 事務センター	53		原嘉彦氏所有地
11	吉野川市	株式会社阿波銀行 中洲管理センター	54	吉野川市	日本フネン株式会社
12		株式会社阿波銀行 研修所	55		鴨島川島クリニック
13		株式会社阿波銀行 研修所	56		株式会社阿波銀行 鴨島支店*
14		沖洲コミュニティセンター*	57		株式会社阿波銀行 鴨島事務センター
15		徳島県医師会館	58		株式会社阿波銀行 鴨島事務センター
16		徳島県医師会館	59		株式会社阿波銀行 鴨島事務センター
17		キョーエイ 沖浜店	60		株式会社阿波銀行 鴨島事務センター
18		キョーエイ 山城橋店	61	阿波市	阿波中央バス
19		キョーエイ 三ツ合橋店	62	美馬市	有限会社三宅生コン
20		ショッピングプラザタクト	63	石井町	株式会社阿波銀行 石井支店*
21	北島町	社会医療法人川島会 川島病院	64	北島町	徳島阿波おどり空港
22		社会医療法人川島会 川島病院	65		株式会社阿波銀行 松茂支店*
23		川島透析クリニック	66		四国化工機株式会社
24		川島透析クリニック	67		キョーエイ 北島店
25		川島透析クリニック	68		株式会社渡辺不動産
26		川島透析クリニック	69		渡辺不動産サンチューリップタウン*
27		川島透析クリニック	70		株式会社阿波銀行 北島支店
28	藍住町	社会福祉法人飛鳥	71	藍住町	キョーエイ 笠木店
29		社会福祉法人飛鳥	72		株式会社吉岡組
30		社会福祉法人飛鳥	73		稻次整形外科病院
31		阿波製紙株式会社	74		かねこみそ株式会社
32		一般社団法人徳島新聞社	75		かねこみそ株式会社
33		徳農種苗株式会社	76		かねこみそ株式会社
34		徳農種苗株式会社	77		藍住川島クリニック
35		高橋利弘氏所有地	78		藍住川島クリニック
36		岸化学グループ	79	板野町	上田食品店
37		喜多機械産業株式会社	80		テック情報株式会社
38	鳴門市	キョーエイ 鳴門店	81	美波町	美波町国民健康保険美波病院
39		鳴門クルーズサービス有限会社	82		美波町医療保健センター
40	小松島市	徳島赤十字ひのみね総合療育センター	83	海陽町	株式会社丸本
41		徳島赤十字ひのみね総合療育センター	84	つるぎ町	カラオケコスモス
42		徳島赤十字乳児院	85	東みよし町	東みよし町社会福祉協議会
43		徳島赤十字病院			

\* 網掛けは、令和元年度に設置した支援自販機  
※ \*印は、一時待避または撤去した支援自販機

## 2 災害救護体制の充実・強化

今後30年以内に70～80%の確率で発生するとされている南海トラフ巨大地震をはじめ、日本各地で頻発、激甚化する豪雨災害等の自然災害に備え、初動期から中長期までの医療救護活動が迅速・適正かつ継続的に展開できるよう、日本赤十字社中國・四国ブロック各県支部合同災害救護訓練をはじめ、他の防災関係機関が実施する各種災害対応訓練に積極的に参加し、救護員の知識・技術の向上に努めた。

また、乳幼児支援の専門職である徳島赤十字乳児院の職員を新たに救護班要員として登録し、災害現場における多様化するニーズへの対応力強化を図った。

### (1) 救護班の編成

医師や看護師、薬剤師等で編成する常備医療救護班をはじめ、災害急性期に活動するための専門的な訓練を受けたD M A T隊員や、災害時における心理的苦痛の予防と軽減を図るためのこころのケア指導者の養成を行い、有事即応の体制を整えている。

なお、常備医療救護班等の編成状況は次のとおりである。

#### ① 常備医療救護班の編成

(人)

施設名	職種	医師 (班長)	臨床研修医師	看護師長	看護師	薬剤師	主事 (自動車操作員を兼ねる)	福祉専門職	計
徳島赤十字病院 (5個班)	5	10	5	20	5	5	5	—	50
徳島赤十字ひのみね総合療育センター (1個班)	1	—	1	4	1	1	—	—	8
徳島県赤十字血液センター (1個班)	1	—	1	4	1	1	—	—	8
徳島赤十字乳児院	—	—	—	1	—	—	—	1	2
計 (7個班)	7	10	7	29	7	7	1	—	68

(注) 1個班の編成基準

医師 1人 看護師長 1人 看護師 4人

薬剤師 1人 主事(自動車操作員を兼ねる) 1人 計 8人

※徳島赤十字病院は1班あたり2名の臨床研修医師を加えて編成

※徳島赤十字乳児院は被災地のニーズにあわせ、臨機的に救護班に加わり活動する。

② 日赤徳島 DMAT（災害派遣医療チーム）

(人)

施設名	職種	医 師	看 護 師	業務調整員
徳島赤十字病院 (3チーム)		4	11	12

(注) 1 チームの編成基準（基本）

医 師 1人 看護師 2人 業務調整員 1人 計 4人

③ こころのケア指導者

(人)

施設名	職種	看 護 師	臨床心理士	計
徳島赤十字病院		8	—	8
徳島赤十字ひのみね総合療育センター		4	1	5

(2) 災害救護訓練等への参加

11月に鳥取県で開催された「日本赤十字社中国・四国ブロック各県支部合同災害救護訓練」に参加し、赤十字独自のネットワーク力を活用した中国・四国ブロック各県支部相互支援体制の確立を図るとともに、地方自治体等が主催する防災訓練等にも積極的に参加し、災害対応力の向上に努めた。



日本赤十字社中国・四国ブロック各県支部合同災害救護訓練の様子

① 日本赤十字社本社並びに中国四国ブロックが実施する研修会への参加

開催年月日	名 称	実施場所	参加者(人)	
			支 部	施 設・V.O
令和元年 7月14日 ～16日	第1回全国赤十字救護班研修会	東 京 都	0	1
8月24日 ～26日	第2回全国赤十字救護班研修会	大 阪 府	0	4
9月14日 ～15日	第1回日赤災害医療コーディネート研修会	東 京 都	0	1
11月9日 ～10日	日本赤十字社中国・四国各県支部合同災害救護訓練	鳥 取 県	3	8
11月15日 ～17日	こころのケア指導者養成研修会	東 京 都	0	1

開催年月日	名 称	実施場所	参加者(人)	
			支部	施設・V0
11月28日 ～29日	日本赤十字社原子弹研修会	愛媛県	0	4
12月7日 ～8日	第2回日赤災害医療コーディネート研修会	東京都	0	1
計 7 回		(参加者 23人)		

② 他機関が実施する災害救護訓練等への参加

開催年月日	名 称	実施場所	参加者(人)	
			支部	施設・V0
令和元年 9月1日	徳島県総合防災訓練	阿南市	3	27
令和2年 1月17日	徳島県防災図上訓練	徳島市	1	1
2月3日	徳島県国民保護共同訓練	徳島市	2	2
計 3 回		(参加者 36人)		

③ DMAT関係訓練・研修への参加

開催年月日	名 称	実施場所	参加者(人)	
			支部	施設・V0
令和元年 7月18日 ～19日	第1回中国四国ブロックDMAT技能維持研修	阿南市	—	7
9月7日	大規模地震時医療活動訓練	千葉県	—	7
10月5日 ～6日	徳島DMAT研修	徳島市	—	2
10月19日 ～20日	四国DMAT実働訓練	愛媛県	—	5
令和2年 2月1日 ～2日	第4回中国四国ブロックDMAT技能維持訓練	香川県	—	5
計 5 回		(参加者 26人)		

(3) 救護班要員研修の実施

救護活動に必要な知識と技術を習得するため、全救護班要員を対象とした基礎研修会や救護班主事を対象とした赤十字南部救護倉庫の資器材の習熟訓練および現地災害対策本部運営訓練を実施した。

① 支部が主催する救護員に対する研修の実施

開催年月日	名 称	実施場所	参加人員(人)
平成31年 4月13日	日本赤十字社徳島県支部救護班 要 員 研 修	小 松 島 市	122
令和元年 6月22日	救護班要員こころのケア研修会	小 松 島 市	45
7月30日	救 護 班 要 員 主 事 訓 練	海 部 郡	11
11月1日	日本赤十字社徳島県支部職員 災 害 時 初 動 訓 練	徳 島 市	8
計 4 回		( 参加者 186 人 )	

(4) 救護物資及び救護資材

南海トラフ巨大地震等の大災害に備え、救護所及び後方支援の拠点として設置する天候万能型フレーム一体式テントをはじめ、赤十字の救護活動を自己完結するための車両として救護員輸送車等を整備している。

また、東日本大震災を教訓に、原子力災害の発生やその恐れがある場合に対応するためのデジタル個人線量計や防護服セット等、災害対応能力強化を図るための資材も整備し、万一に備えている。

① 救護装備一覧

(令和2年3月31日現在)

品 名	数 量	品 名	数 量
災害救援車（普通自動車）	4台	災害用アルミボート（船外機付）	1艇
災害救援車（トラック）	1台	防護マスク	12個
フレーム一体式テント	2張	防護服	12着
エアーテント	2張	デジタル個人線量計	7台
除染テント	1張	防護服セット	7セット
簡単テント	2張	ガスランタン	46個
パイプテント	1張	寝袋	49枚
救護所用冷暖房器	3台	敷きマット	28枚
発電機	6台	エア枕	500個
投光器	19台	救命胴衣	10着
医療セット	2セット	災害用移動炊飯器	5基
初動用医療セット	1セット	衛星携帯電話（モバイル）	1台

品 名	数 量	品 名	数 量
折り畳み寝台	21台	衛星携帯電話（車載）	1台
担架	12本	簡易無線機	7台
担架台	4組	業務用無線局（150MHz）基地局	4台
バックボード	4台	〃 移動局	10台
ラップ式簡易トイレ	2台	業務用無線局（400MHz）基地局	1台
簡易型トイレ	53個	〃 移動局	22台
災害救護用自転車	1台	アマチュア無線機	14台
カセットガスストーブ	5台	充電式LEDライト	19台
スポットクーラー	2台	折り畳みテーブル	10台
折り畳みチェア	30脚	ハイブリッド発電機	7台

## ② 南部救護倉庫収納資材一覧

(令和2年3月31日現在)

品 名	数 量	品 名	数 量
災害対策用ワンタッチ多目的テント	1式	ラップ式移動型トイレ	2台
全方位型LED投光器	2台	〃 専用折り畳み個室	2個
発動発電機	2台	簡易型トイレ	10個
コードリール	2本	個室型ワンタッチテント	10張
担架	2本	備蓄用長尺トイレットペーパー	10ロール
折り畳み寝台	10台	ガソリン缶詰	8リッ
テーブル・椅子セット	3セット	白灯油缶詰	8リッ
折り畳みリヤカー	1台	ガソリン携行缶	1個
台車	1台	災害用移動炊飯器	2基
ノーパンク折り畳み自転車	1台	カセットコンロ・カセットガス	1セット
折り畳み式ホワイトボード	2台	大型やかん	1個
トリアージタグ	200枚	大型なべ	1個
防水型メガホン	2台	毛布	240枚
防水シート	3箱	緊急セット	30セット
シャベル	3本	安眠セット	60セット
救助用レンジャーロープ	1本	大判バスタオル	120枚
遠赤石油ストーブ	2台	タオルケット	120枚
保存用飲料水	108リッ	タオル・石けん	1箱

### ③ 救援物資備蓄状況

(令和2年3月31日現在)

区分	前年度 繰越数	県外から の受入数	本年度 購入数	計 ①	本年度 払出数	その他 払出数	計 ②	残 数 ①-②
毛 布	3,142	0	0	3,142	45	7	52	3,090
緊急セット	1,285	0	0	1,285	31	15	46	1,239
安眠セット	375	0	0	375	0	0	0	375
大判 バスタオル	980	0	0	980	0	0	0	980
タオルケット	649	0	0	649	0	0	0	649



毛布



緊急セット



大判バスタオル



安眠セット



タオルケット

### (5) 災害用移動炊飯器を活用した炊き出し訓練の実施

県下213カ所の学校や公民館等に配備している災害用移動炊飯器を活用し、赤十字奉仕団や地域の炊き出しリーダーとして活動する「赤十字炊き出しサポーター」が中心となり、炊き出し訓練を実施した。

学校での炊き出し訓練では、未来を担う子供たちに非常食作りを通じて、防災意識の高揚を図るとともに、地域等における炊き出し訓練では、訓練を通じて災害に強い地域づくりや絆づくりの支援と災害時の食に対する支援体制の充実・強化を図った。

① 災害用移動炊飯器設置状況

(令和2年3月31日現在)

No.	地区・分区名	設置場所	No.	地区・分区名	設置場所
1	徳島市	内町コミュニティセンター	40	徳島市	論田小学校
2		内町小学校	41		多家良中央コミュニティセンター
3		出来島公園防災倉庫	42		丈六コミュニティセンター
4		新町公民館	43		上八万地区ボランティアセンター
5		西富田コミュニティセンター	44		上八万小学校
6		東富田コミュニティセンター	45		一宮小学校
7		昭和コミュニティセンター	46		入田コミュニティセンター
8		徳島市昭和地区猪之津株式会社 昭和倉庫	47		入田中学校
9		渭東コミュニティセンター	48		不動コミュニティセンター
10		渭東コミュニティセンター	49		川内町民会館
11		住吉・城東コミュニティセンター	50		川内町民会館
12		徳島商業高等学校	51		徳島県赤十字有功会 株式会社キヨーエイ本部
13		徳島中学校	52		徳島県赤十字有功会 株式会社キヨーエイ本部
14		渭北コミュニティセンター	53		応神コミュニティセンター
15		佐古コミュニティセンター	54		応神コミュニティセンター
16		佐古コミュニティセンター	55		国府コミュニティセンター
17		沖洲コミュニティセンター	56		南井上コミュニティセンター
18		沖洲小学校	57		南井上コミュニティセンター
19		津田コミュニティセンター	58		北井上コミュニティセンター
20		津田中学校	59		北井上コミュニティセンター
21	鳴門市	津田小学校	60	鳴門市	鳴門市福祉事務所
22		加茂名コミュニティセンター	61		鳴門市福祉事務所
23		ショッピングプラザタクト	62		鳴門市婦人会館
24		神明神社防災倉庫	63		木津地区ふれあい公園
25		若宮神社防災倉庫	64		里浦公民館
26		喜多機械産業株式会社	65		里浦小学校
27		加茂コミュニティセンター	66		鳴門西地区防災倉庫
28		千松小学校	67		北灘公民館
29		城西中学校	68		堀江公民館
30		八万中央コミュニティセンター	69		堀江公民館
31		八万中央コミュニティセンター	70		鳴門東地区コミュニティセンター
32		夷山緑地	71		黒崎集会所
33		八万小学校	72		矢倉集会所
34		八万南小学校	73		渦潮ふれあい館
35		城南高等学校	74		瀬戸公民館
36		ふれあい健康館	75		瀬戸公民館
37		勝占中部コミュニティセンター	76		島田小学校
38		勝占東部コミュニティセンター	77		北泊公民館
39		方上公民館	78		明神北集会所

No.	地区・分区名	施設名	No.	地区・分区名	施設名
79	鳴門市	日出集会所	119	阿波市	阿波市役所 阿波支所
80		徳島県赤十字有功会 鳴門シーガル病院	120		阿波市役所 土成支所
81		徳島県赤十字有功会 鳴門シーガル病院	121		阿波市役所 吉野支所
82		鳴門公民館	122		大俣公民館
83		黒崎集会所	123		大俣公民館
84		川東公民館	124	美馬市	美馬市福祉事務所
85		斎田集会所	125		美馬市消防本部
86		折野北条集会所	126		三島会館
87		板東南ふれあいセンター	127		有限会社藤田計夫商店
88	小松島市	小松島市役所	128	三好市	三好市役所
89		ミリカホール	129		箸蔵公民館
90		徳島赤十字病院	130		三好市社会福祉協議会
91		徳島赤十字ひのみね総合療育センター	131		三好市社会福祉協議会 三野支所
92		みなと高等学園	132		三好市社会福祉協議会 山城支所
93		立江小学校	133		三好市社会福祉協議会 西祖谷支所
94		新開公民館	134		三好市社会福祉協議会 東祖谷支所
95		櫛渕公民館	135	勝浦町	勝浦町役場
96		東とくしま農業協同組合和田島支所	136		勝浦町社会福祉協議会サルビア作業所
97	阿南市	阿南市役所	137		勝浦町福祉センター
98		橋地区防災公園	138		勝浦町福祉センター
99		ショッピングプラザアピカ	139	上勝町	旭基幹集落センター
100		大野公民館	140		上勝町社会福祉協議会
101		宝田公民館	141		上勝町支所
102		新野公民館	142	佐那河内村	佐那河内村役場
103		福井公民館	143		佐那河内村社会福祉協議会
104		那賀川公民館	144		佐那河内村社会福祉協議会
105		徳島県建設業協会阿南支所	145		佐那河内小・中学校
106	吉野川市	中野島総合センター	146	石井町	石井中学校
107		長生公民館	147		高浦中学校
108		富岡公民館	148		石井町社会福祉協議会
109		阿南市勤労女性センター	149		石井町地域防災交流センター
110		桑野公民館	150		平島水防倉庫
111		加茂谷公民館	151	神山町	神山町社会福祉協議会
112		吉野川市社会福祉協議会鴨島支所	152		神山町社会福祉協議会
113		上浦地区公民館	153		下分公民館
114		西麻植会館	154	松茂町	松茂町役場
115		川島公民館	155		松茂町役場
116		山川地域総合センター	156		松茂町津波防災センター
117		吉野川市消防団美郷方面第三・六分団詰所	157		松茂町社会福祉協議会
118	阿波市	阿波市役所	158		喜来小学校

No.	地区・分区名	施設名	No.	地区・分区名	施設名
159	松茂町 北島町	徳島阿波おどり空港	187	美波町	南部総合県民局 美波庁舎
160		北島町社会福祉協議会	188		美波町ストックヤード
161		北島町社会福祉協議会	189		美波町ストックヤード
162		北島町社会福祉協議会	190		美 波 病 院
163		北 島 小 学 校	191		木岐聖ヶ丘農林漁業体験施設
164	藍住町	藍住町社会福祉協議会	192	牟岐町	牟岐町役場 高倉倉庫
165		藍住町社会福祉協議会	193		牟岐町役場 西山倉庫
166		藍住東小学校	194		牟岐町役場 西山倉庫
167		藍住西小学校	195		牟岐町役場 西山倉庫
168		藍住南小学校	196		海陽町役場 海部庁舎
169		藍住北小学校	197	海陽町	海陽町役場 海部庁舎
170	板野町	板野町災害対策用備蓄倉庫	198		海陽町役場 海部庁舎
171		板野町社会福祉協議会	199		海陽町役場 海部庁舎
172		板野南小学校	200		株式会社丸本(災害避難場所)
173		板野西小学校	201		株式会社丸本(災害避難場所)
174		板野町南公会堂	202	つるぎ町	つるぎ町役場
175		板野町民ふれあいプラザ	203		つるぎ町役場
176	上板町	上板町社会福祉協議会	204		つるぎ町役場 半田支所
177		高志消防コミュニティセンター	205		つるぎ町役場 半田支所
178		大山消防コミュニティセンター	206		つるぎ町役場 一宇支所
179		松島消防コミュニティセンター	207		つるぎ町役場 一宇支所
180	那賀町	那賀町役場	208	東みよし町	東みよし町社会福祉協議会
181		那賀町役場 木沢支所	209		東みよし町社会福祉協議会
182		那賀町役場 木頭支所	210		東みよし町社会福祉協議会
183		那賀町平谷出張所	211		東みよし町社会福祉協議会
184		平谷小学校	212		東みよし町社会福祉協議会
185		桜谷小学校	213		東みよし町社会福祉協議会
186		鷲敷中央公民館			

② 「赤十字炊き出しセンター」の状況

令和2年3月31日現在

地 区 ・ 分 区 名	人 数 (人)
徳島市 地区	54
鳴門市 地区	3
小松島市 地区	1
阿南市 地区	32
吉野川市 地区	4
阿波市 地区	5
美馬市 地区	2

地 区 • 分 区 名		人 数 (人)
三 好	市 地 区	1 5
東 部 地 区	勝 浦 町	3
	上 勝 町	3
	佐 那 河 内 村	3
	石 井 町	2
	神 山 町	3
	松 茂 町	3
	板 野 町	2
	藍 住 町	3
	上 板 町	2
	北 島 町	3
南 部 地 区	那 賀 町	3
	美 波 町	3
	牟 岐 町	5
	海 陽 町	2
西 部 地 区	つ る ぎ 町	6
	東 み よ し 町	2
合 計		1 6 4

#### (6) 災害時活動用テントの配備

地域における災害時の支援活動や平時の防災訓練等において、簡易に利用が可能な折りたたみ式テントを、令和元年度は新たに21カ所に配備し、地域の防災力・災害対応力の更なる向上を図った。

これで県下配備している災害時活動用テントは、58張となった。

##### ① 災害時活動用テント配備状況

No.	地区・分区名	設 置 場 所
1	徳島市地区	内町コミュニティセンター
2		新町コミュニティセンター
3		西富田コミュニティセンター
4		東富田コミュニティセンター
5		昭和コミュニティセンター
6		渭東コミュニティセンター
7		渭北コミュニティセンター

No.	地区・分区名	設置場所
8	徳島市地区	佐古コミュニティセンター
9		沖洲コミュニティセンター
10		津田コミュニティセンター
11		加茂名地区名東3丁目自主防災会防災倉庫
12		加茂コミュニティセンター
13		八万中央コミュニティセンター
14		勝占中部コミュニティセンター
15		多家良中央コミュニティセンター
16		上八万小学校
17		入田コミュニティセンター
18		不動コミュニティセンター
19		川内公民館
20		応神コミュニティセンター
21		徳島市立考古資料館敷地内防災倉庫
22		南井上コミュニティセンター
23		北井上コミュニティセンター
24	鳴門市地区	鳴門市役所
25		鳴門公民館
26	小松島市地区	ミリカホール
27		J Aとくしま和田島支所
28	阿南市地区	富岡公民館
29		羽ノ浦公民館
30	吉野川市地区	吉野川市役所
31		ふるさとセンター
32	阿波市地区	阿波市大俣公民館
33		阿波市役所
34	美馬市地区	美馬市福祉事務所
35		美馬市社会福祉協議会
36	三好市地区	三好市中央公民館
37		三好市社会福祉協議会
38	東部地区	勝浦町民体育館
39		旭基幹集落センター
40		佐那河内防災備蓄倉庫
41		石井町社会福祉協議会
42		石井町社会福祉協議会

No.	地区・分区名	設置場所
43	東 部 地 区	神山町社会福祉協議会
44		松茂町老人福祉センター松鶴苑
45		北島町社会福祉協議会
46		北島町社会福祉協議会
47		藍住町福祉センター
48		藍住町社会福祉協議会
49		板野町社会福祉協議会
50		上板町社会福祉協議会
51	南 部 地 区	那賀町役場相生庁舎
52		美波町国民健康保険美波病院
53		牟岐町役場西山倉庫
54		海陽町役場海部庁舎
55	西 部 地 区	つるぎ町役場
56		東みよし町社会福祉協議会
57	そ の 他	日本赤十字社徳島県支部
58		日本赤十字社徳島県支部

#### (7) 大規模災害時における避難者支援の強化

これまでの東日本大震災や熊本地震、平成30年7月豪雨災害等における救護活動の経験を踏まえ、南海トラフ巨大地震をはじめとした大規模災害時に、長期にわたる避難所生活において特に配慮が必要な高齢者や乳児を対象とした段ボールベッドを新たに整備し、災害時における要配慮者支援体制の充実・強化を図った。

##### ① 災害時要支援者用段ボールベッドの整備数

乳児用段ボールベッド	50セット
高齢者用段ボールベッド	50セット



災害時要支援者用段ボールベッド  
(手前が乳児用、奥が高齢者用)

#### (8) 地域の自主防災組織等と連携した防災訓練

災害時に備え、地域の自主防災組織等が開催する訓練等において、当支部救護員による災害救護現場での実体験に基づく防災講話をはじめ、災害時に役立つ知識・技術を身につける訓練を実施した。

## (9) 地域における防災・減災事業の推進

地域コミュニティにおける「自助」「共助」の力を高めることを目的に、東日本大震災や熊本地震、平成30年7月豪雨災害等で、当支部が行った救護活動を通しての体験や平時における災害への備え等についての防災講話を実施した。

また、避難所における高齢者や乳幼児の支援方法、災害時に発生しやすいがや骨折の応急



災害時の搬送

手当、傷病者の搬送方法等の内容を盛り込んだ訓練を実施し、防災意識の向上と災害時に必要な知識・技術の普及・啓発を図った。

なお、実施状況は、次のとおりである。

### ① 講習実施状況

(人)

対象・主催等	受講者数	対象・主催等	受講者数
徳島市地区赤十字奉仕団渭北分団	50	渭北公民館	32
小松島市地区赤十字奉仕団芝田分団	20	上分地区敬老会開催実行委員会	80
阿南市地区赤十字奉仕団福井分団	28	藍住町社会福祉協議会	30
吉野川市地区赤十字奉仕団	35	牟岐町社会福祉協議会	70
西部地区つるぎ町赤十字奉仕団	46	美馬市社会福祉協議会	211
徳島市地区赤十字奉仕団昭和分団・育英認定こども園	50	三好市社会福祉協議会西祖谷支所	56
徳島県シルバー大学校大学院	19	三好市社会福祉協議会	120
徳島県シルバー大学校	15	北島町社会福祉協議会	30
名東町自主防災会	88	神山町	90
いづみの里自主防災会	58	内田学童保育クラブ	18
沖洲自主防災連合会	140		
		計 21回	1,286

※ 救急法との同時開催分は救急法短期講習実績に記載

## (10) 臨時救護の状況

はなはるフェスタ等の各種イベントの救護や小学校での福祉体験学習のサポートを実施した。

なお、実施状況は、次のとおりである。

回数	派遣人員
15回	40人

## (11) 赤十字小規模災害見舞金等交付状況

県内で発生した災害により死亡または行方不明、もしくは住家が全焼（壊）・半焼（壊）・流失・床上浸水の被害をうけた住民に対し、次の基準により見舞金品を交付した。

### ① 交付基準

区分 被害別	見舞金 (弔慰金)	毛 布	タオル	石けん	緊急セット (家族構成)
死 行 方 不 明	30,000 円				
全 烧 壊 失	20,000 円	1人に1枚	1人に5本	1人に5個	1世帯に1個 (3人まで)
					1世帯に2個 (4人以上)
半焼・半壊	10,000 円	1人に1枚	1人に5本	1人に5個	1世帯に1個
床上浸水		1人に1枚	1人に5本	1人に5個	1世帯に1個

(注) 小規模災害に対する赤十字見舞金品交付要領に基づく。(災害救助法が適用される場合及び自己放火の火災については除く。)

### ② 市町村別交付状況

区分	死 行 方 不 明 (件)	全焼・全壊 世帯件数 (件)	半焼・半壊 世帯件数 (件)	床上浸水 世帯件数 (件)	見舞金等交付状況			
					見舞金 (円)	毛 布 (枚)	緊急セット (個)	
市 地 区	徳島市地区	0	5	0	0	100,000	9	6
	鳴門市地区	1	3	1	0	100,000	5	3
	小松島市地区	1	1	0	0	50,000	1	1
	阿南市地区	0	1	0	0	20,000	1	1
	吉野川市地区	1	2	0	0	70,000	2	2
	阿波市地区	0	0	0	0	0	0	0
	美馬市地区	0	3	0	0	60,000	9	4
	三好市地区	0	0	0	0	0	0	0
	市 地 区 計	3	15	1	0	400,000	27	17
東 部 地 区	勝浦町分区	0	0	0	0	0	0	0
	上勝町分区	0	0	0	0	0	0	0
	佐那河内村分区	0	0	0	0	0	0	0
	石井町分区	1	1	0	0	50,000	1	1
	神山町分区	0	1	0	0	20,000	1	1
	松茂町分区	0	1	0	0	20,000	1	1
	北島町分区	0	1	0	0	20,000	1	1
	藍住町分区	0	5	0	0	100,000	5	5
	板野町分区	0	1	0	0	20,000	2	1
	上板町分区	0	1	0	0	20,000	1	1
	計	1	11	0	0	250,000	12	11

区分	死 亡 行方不明 (件)	全焼・全壊 世帯件数 (件)	半焼・半壊 世帯件数 (件)	床上浸水 世帯件数 (件)	見舞金等交付状況		
					見舞金 (円)	毛布 (枚)	緊急セット (個)
南部地区	那賀町分区	0	0	0	0	0	0
	美波町分区	0	0	0	0	0	0
	牟岐町分区	0	0	0	0	0	0
	海陽町分区	1	1	0	0	50,000	2
	計	1	1	0	0	50,000	2
西部地区	つるぎ町分区	0	0	0	0	0	0
	東みよし町分区	0	1	0	0	20,000	4
	計	0	1	0	0	20,000	4
町村分区計		2	13	0	0	320,000	18
合 計		5	28	1	0	720,000	45
							31

## (12) 国内の災害義援金の受付状況

(令和2年3月31日現在)

区分	件 数 (件)	受付額 (円)
東日本大震災義援金	25	80,484
平成28年熊本地震災害義援金	22	108,877
平成30年7月豪雨災害義援金	27	259,216
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	22	29,644
令和元年8月豪雨災害義援金	4	77,898
令和元年台風第15号千葉県災害義援金	14	797,292
令和元年台風第15号東京都義援金	2	14,034
令和元年台風第19号災害義援金	238	60,002,857
計	354	61,370,302

## 3 赤十字の救急法等の普及活動

命と健康を守るために具体的な知識や技術の普及を図り、県民が健康で安全な生活を送ることができるよう、県内各地で赤十字講習を開催した。

また、幼児安全法の指導体制の充実を図るため、新たな指導員を養成し、講習普及体制の強化に努めた。

### (1) 救急法

救急法は、赤十字の各種講習の中でもすべての基本となることから、重点事業として位置づけ、積極的に普及活動を行った。

特に、止血帯を用いた応急手当や低血糖への対応、脳卒中の早期認識等、国際基準に基づく最新の知識と技術を加えた講習を地域や学校などで実施した。

なお、実施状況は次のとおりである。



#### ① 講習実施状況

##### ア. 基礎講習

学校での救急法講習会の様子

(人)

対象・主催等	受講者数	修了者数
水上安全法受講者対象	8	8
日本赤十字社徳島県支部 一般対象①	26	26
日本赤十字社徳島県支部 一般対象②	26	26
日本赤十字社徳島県支部 一般対象③	10	10
日本赤十字社徳島県支部 一般対象④	29	29
日本赤十字社徳島県支部 一般対象⑤	26	26
徳島赤十字病院職員対象	28	28
徳島赤十字ひのみね総合療育センター職員対象	12	12
徳島県警察学校学生対象①	28	28
徳島県警察学校学生対象②	20	20
徳島文理大学学生対象	31	31
日本スイミングクラブ協会四国支部	14	14
計 12回	258	258

##### イ. 救急員養成講習

(人)

対象・主催等	受講者数	養成者数
日本赤十字社徳島県支部 一般対象①	31	31
日本赤十字社徳島県支部 一般対象②	27	27
日本赤十字社徳島県支部 一般対象③	20	20
徳島赤十字病院職員対象	29	29
徳島赤十字ひのみね総合療育センター職員対象	12	12
徳島県警察学校学生対象①	28	28
徳島県警察学校学生対象②	20	20
徳島文理大学学生対象	31	31
計 8回	198	198

## ウ. 短期講習

(人)

対象・主催等	受講者数	対象・主催等	受講者数
鳴門教育大学附属小学校	30	羽ノ浦小学校	60
新町小学校	13	学島小学校	56
加茂名小学校	30	岩倉小学校	40
八万小学校	50	大俣小学校	15
渋野小学校	30	生比奈小学校	60
一宮小学校	12	上勝小学校	50
南井上小学校	30	松茂小学校	50
鳴門西小学校	22	板野東小学校	50
小松島小学校	60	藍住東小学校	50
南小松島小学校	30	城西中学校	30
南小松島小学校	90	八万中学校	30
北小松島小学校	90	加茂名中学校	40
新開小学校	90	北井上中学校	25
芝田小学校	40	小松島中学校	15
児安小学校	50	小松島南中学校	30
櫛渕小学校	65	阿南中学校	30
中野島小学校	95	富岡東中学校・高等学校	70
横見小学校	48	吉野中学校	176
大野小学校	30	土成中学校	80
桑野小学校	35	市場中学校	81
吉井小学校	45	市場中学校	79
宝田小学校	40	市場中学校	84
山口小学校	20	三野中学校	25
平島小学校	50	上勝中学校	60
石井中学校	169	とくしま森林づくり県民会議	10
松茂中学校	132	徳島市地区赤十字奉仕団東富田分団	30
藍住中学校	48	阿南市地区赤十字奉仕団津乃峰分団	30
佐那河内中学校	60	西部地区つるぎ町赤十字奉仕団	46
城西高等学校	120	藍住町社会福祉協議会	45
城東高等学校	30	東みよし町社会福祉協議会	25
城南高等学校	82	東みよし町社会福祉協議会	40
城南高等学校	24	東みよし町社会福祉協議会	15
城北高等学校	60	東みよし町社会福祉協議会	50
徳島市立高等学校	50	阿南北部第2高齢者お世話センター	25

対象・主催等	受講者数	対象・主催等	受講者数
徳島市立高等学校	47	阿南北部第2高齢者お世話センター	15
徳島科学技術高等学校	60	渭北地区自主防災会	60
徳島中央高等学校	30	不動自主防災会	60
小松島高等学校	60	鴨島小学校地区自主防災会	63
小松島西高等学校	225	飯尾敷地地区自主防災会	200
鳴門高等学校	70	那賀警察署	31
鳴門高等学校	90	小松島警察署	24
鳴門渦潮高等学校	45	内町学童保育クラブ	20
脇町高等学校	70	国府学童保育クラブ	10
池田高等学校	40	社会福祉法人カリヨンれもん徳島	15
徳島文理大学	10	社会福祉法人あさがお福祉会	45
徳島文理大学	80	川島病院	200
四国大学	15	徳島県水泳連盟	28
徳島大学人と地域共創センター	35	徳島県剣道連盟	70
鳴門教育大学付属特別支援学校	30	徳島県柔道連盟	15
鳴門教育大学付属特別支援学校	20	徳島県柔道連盟	40
板野支援学校	22	あいづみスポーツクラブ	27
徳島視覚支援学校	60	日本青年会議所四国地区協議会	50
徳島視覚支援学校	18	かみかつ里山俱楽部	20
ひのみね支援学校	60	徳島県個人タクシー協同組合	45
徳島県シルバー大学校	20	アクサス株式会社	11
徳島県シルバー大学校	15	赤十字AED設置担当者	17
徳島県シルバー大学校	15	赤十字バイク奉仕団	12
徳島県教育委員会体育学校安全課	9	JRCトレセン	46
徳島県中学校教育研究会養護部会	85	JRCトレセン	44
三好郡市小学校養護部会	25	徳島県総合防災訓練	40
スポーツ安全協会徳島県支部	56		
		計 121回	5,992

## ② 救急法指導員数

職 員	53名	計 102名
ボランティア指導員	49名	

### ③ 赤十字AED設置施設対象講習会の開催

施設におけるAEDの適切な管理方法や最新の一次救命処置の技術を身につけ、いざというときに迅速・適切に対応できることを目的として、赤十字AEDを設置している施設を対象に講習会を開催した。

なお、赤十字AEDの設置状況は次のとおりである。

### ④ 赤十字AEDの設置状況

A E D の管理方法を説明する  
赤十字救急法指導員

(令和2年3月31日現在)

No.	市町村	設 置 施 設 名	No.	市町村	設 置 施 設 名
1	徳島市	日本赤十字社徳島県支部事務局	25	阿南市	阿 南 市 役 所
2		徳 島 市 役 所	26		椿 住 民 セ ン タ ー
3		阿 波 お ど り 会 館	27		阿 南 市 文 化 会 館
4		徳 島 合 同 庁 舎	28		南部総合県民局阿南庁舎
5		内町コミュニティセンター	29		南部総合県民局阿南保健所庁舎
6		西富田コミュニティセンター	30		阿 南 市 情 報 文 化 セ ン タ ー
7		東富田コミュニティセンター	31		阿 南 市 長 生 隣 保 館
8		昭和コミュニティセンター	32		本 庄 公 会 堂
9		渭東コミュニティセンター	33		福 井 総 合 セ ン タ ー
10		渭北コミュニティセンター	34		伊 島 高 齢 者 ふ れ あ い セ ン タ ー
11		佐古コミュニティセンター	35		阿 南 ひ ま わ り 会 館
12		沖洲コミュニティセンター	36		加 茂 谷 総 合 セ ン タ ー
13		加茂コミュニティセンター	37	吉野川市	吉 野 川 市 役 所
14		八万中央コミュニティセンター	38		吉 野 川 市 役 所
15	鳴門市	八万コミュニティセンター	39	阿波市	阿 波 市 役 所
16		勝占中部コミュニティセンター	40		阿 波 市 役 所 阿 波 支 所
17		勝占東部コミュニティセンター	41		阿 波 市 役 所 吉 野 支 所
18		方 上 公 民 館	42		吉 野 保 健 セ ン タ ー
19		多家良中央コミュニティセンター	43		阿 波 市 役 所 土 成 支 所
20		応神コミュニティセンター	44		土 成 保 健 セ ン タ ー
21		南井上コミュニティセンター	45	美馬市	美馬市地域交流センターミライズ
22		鳴 門 市 役 所	46		西部総合県民局美馬庁舎
23		鳴門市老人福祉センター	47		三 島 小 学 校 *
24	小松島市	小 松 島 市 役 所	48	三好市	西部総合県民局三好庁舎

No.	市町村	設置施設名	No.	市町村	設置施設名
49	三好市	三好市総合体育館	64	板野町	板野町民センター
50		山城公民館	65	上板町	上板町老人福祉センター
51		三好市役所西祖谷支所	66	那賀町	南部総合県民局那賀庁舎
52		三野老人福祉センター	67	美波町	南部総合県民局美波庁舎
53		井川ふるさと交流センター	68		美波町役場
54		西山構造改善センター	69		美波町役場
55		別格本山箸蔵寺*	70	牟岐町	牟岐町役場
56	勝浦町	勝浦町役場	71	海陽町	海陽町デイサービスセンター
57	上勝町	上勝町役場	72		海陽町役場海部庁舎
58	佐那河内村	佐那河内村役場	73		海陽町役場宍喰庁舎
59	石井町	石井町中央公民館	74	つるぎ町	つるぎ町役場一宇支所
60		石井町社会福祉協議会	75		つるぎ町就業改善センター
61	松茂町	松茂町役場	76	東みよし町	東みよし町役場
62	藍住町	藍住町役場	77		東みよし町老人福祉センター
63		藍住町保健センター	78		東みよし町役場 三好分庁舎

※ \*印は赤十字有功会員等の協力による学校等への設置分

##### ⑤ AED レンタルバンク実施状況

レンタル回数	レンタル台数
20回	35台

#### (2) 水上安全法

水と親しみ、水の事故から命を守るために泳ぎの基本や自己保全、事故防止、また万一、事故が発生した場合の救助方法や応急手当の方法についての知識や技術を県内各地で普及した。

なお、実施状況は次のとおりである。

##### ① 講習実施状況

###### ア. 救助員養成講習



バックボードを使った陸上への搬送

(人)

対象・主催等	受講者数	養成者数
日本赤十字社徳島県支部 一般対象	8	8
計 1回	8	8

## イ. 短期講習

(人)

対象・主催等	受講者数	対象・主催等	受講者数
北島北小学校	100	徳島市教育委員会スポーツ振興課	30
松茂小学校	102	徳島県警察学校	28
喜来小学校	46	徳島県警察学校	22
計 6回		328	

### ② 水上安全法指導員数

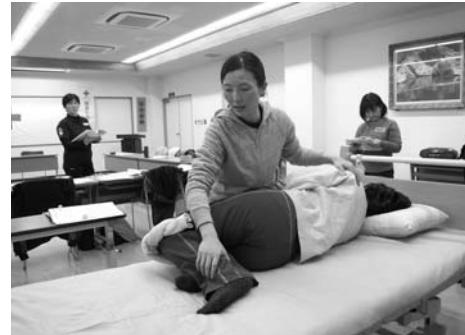
職員	1名	計 25名
ボランティア指導員	24名	

### (3) 健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期をすこやかに過ごすために、健康増進の知識や高齢者の支援・自立に役立つ介護技術の普及を図った。

また、災害時における高齢者の支援方法を中心とした防災講話やホットタオルの作り方、深部静脈血栓症の予防体操等、実技を交えた災害時高齢者生活支援講習を各地域で実施した。

なお、実施状況は次のとおりである。



支援員養成講習会の様子

### ① 講習実施状況

#### ア. 支援員養成講習

(人)

対象・主催等	受講者数	養成者数
徳島赤十字病院職員対象	36	36
徳島赤十字ひのみね総合療育センター職員対象	7	7
日本赤十字社徳島県支部一般対象	16	16
計 3回	59	59

イ. 短期講習

(人)

対象・主催等	受講者数	対象・主催等	受講者数
徳島市地区赤十字奉仕団沖洲分団	25	西富田社会福祉協議会	60
徳島市地区赤十字奉仕団佐古分団	30	石井町社会福祉協議会	34
阿南市地区赤十字奉仕団福井分団	28	東みよし町社会福祉協議会	30
南部地区那賀町赤十字奉仕団	60	とくしま生協共済事業部	24
西部地区つるぎ町赤十字奉仕団	60	阿波市吉野地区長寿会連合会	80
三好市地区赤十字奉仕団三野分団	80	徳島赤十字ひのみね総合療育センター	51
吉野川市地区赤十字奉仕団	80		
		計 13 回	642

ウ. 福祉体験学習

(人)

対象・主催等	受講者数	対象・主催等	受講者数
内町小学校	49	論田小学校	62
助任小学校	160	川内北小学校	101
沖洲小学校	90	国府小学校	117
八万小学校	118	北小松島小学校	67
千松小学校	134	平島小学校	58
論田小学校	66	高浦中学校	60
		計 12 回	1,082

② 健康生活支援講習指導員数

職員	28名	計 36名
ボランティア指導員	8名	

(4) 幼児安全法

乳幼児の心肺蘇生法や異物除去の方法、乳幼児期にかかりやすい病気やその症状に対する手当の普及に努めた。

併せて、保育所や幼稚園などの施設を中心に事故を未然に防ぐための事故防止思想を普及した。

また、新たに11人の指導員を養成し、講習普



乳児の心肺蘇生を学ぶ受講者

及体制の強化に努めた。

なお、実施状況は、次のとおりである。

① 講習実施状況

ア. 指導員養成講習

(人)

対象・主催等	受講者数	養成者数
日本赤十字社徳島県支部 一般・職員対象 (事前研修会)		
日本赤十字社徳島県支部 一般・職員対象 (本講習会)	11	11
日本赤十字社徳島県支部 一般・職員対象 (事後研修会)		
日本赤十字社徳島県支部 一般・職員対象 (新任指導者研修会)		

イ. 支援員養成講習会

(人)

対象・主催等	受講者数	養成者数
日本赤十字社徳島県支部 一般対象	24	24
徳島赤十字病院 職員対象	35	35
計 2回	59	59

ウ. 短期講習

(人)

対象・主催等	受講者数	対象・主催等	受講者数
みどり保育園	11	徳島県勤労者福祉ネットワーク	105
丈六保育所	10	子ども家庭支援センターひかり	8
みのり保育園	26	児童発達支援放課後デイサービスギフティッド	25
池田第二保育所	40	徳島児童ホーム	30
津田保育所	12	新野こどもセンター	40
あいづみ保育園	20	徳島ファミリーサポートセンター	20
青葉保育園	30	徳島ファミリーサポートセンター	20
みづほ保育園	20	小松島市公立保育所協議会	38
おおぎ認定こども園	25	社会福祉法人仁栄会ねむのき	20
こまつしま健祥会認定こども園	20	徳島赤十字乳児院	3
八万幼稚園	140	徳島赤十字乳児院	4
ビーンスターク保育園とくしま	50	徳島赤十字乳児院	14
阿波銀行経営統括部	11	徳島赤十字乳児院	14
徳島県保育事業連合会	180	徳島赤十字乳児院	9
多家良中央児童館	4	徳島赤十字乳児院	3

対象・主催等	受講者数	対象・主催等	受講者数
徳島県教育委員会学校教育課	27	徳島赤十字乳児院	6
小松島市総合福祉センター	25	徳島赤十字乳児院	3
計 34 回		1,013	

## ② 幼児安全法指導員数

職 員	37名	計 60名
ボランティア指導員	23名	

## 4 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、市町村ごとに組織され、地域に根ざした活動を行う「地域赤十字奉仕団」と社会人や学生により組織されている「青年赤十字奉仕団」、また特定の資格や技能、知識等を活かした活動を行う「特殊赤十字奉仕団」で組織されている。

赤十字活動を根底から支える赤十字奉仕団の人的資源を最大限に発揮できるよう、各種奉仕団で訓練・研修等を実施し、奉仕団組織の強化と団員の育成を図った。

種 別	区 分	団 数 (団)	団 員 数 (人)		
			男	女	計
地域赤十字奉仕団	地域赤十字奉仕団	23	1,420	25,963	27,383
青年赤十字奉仕団	青年赤十字奉仕団	1	20	15	35
	学生赤十字奉仕団	2	21	45	66
	計	3	41	60	101
	赤十字救護救援奉仕団	1	28	21	49
特殊赤十字奉仕団	赤十字救急法奉仕団	1	31	71	102
	赤十字水上安全法奉仕団	1	22	3	25
	青少年赤十字賛助奉仕団	1	23	5	28
	赤十字看護奉仕団	1	2	74	76
	赤十字アマチュア無線奉仕団	1	64	5	69
	赤十字船舶奉仕団	1	32	0	32
	赤十字バイク奉仕団	1	71	6	77
	計	8	273	185	458
合 計		34	1,734	26,208	27,942

## (1) 地域赤十字奉仕団

各市町村の地域赤十字奉仕団活動の充実・強化を図るために、各種研修会の開催や「モデル奉仕団の指定」等を行い、地域福祉の向上に努めた。

また、奉仕団組織の強化を図るために、各地域の特色を盛り込んだ奉仕団員募集リーフレットを新たに作成し、各地域での積極的な広報活動を行い、奉仕団員の増強と活動の活性化に努めた。

### ① 主な奉仕活動

- ア 社員増強に関する活動
- イ 災害救護に関する活動
- ウ 青少年赤十字の普及・育成に関する活動
- エ 献血推進に関する活動
- オ 赤十字の講習等の普及活動
- カ 赤十字病院や施設における奉仕活動
- キ 老人や障がい者の援助活動
- ク 地域の環境美化活動
- ケ 子育て支援活動

### ② 会議

開催年月日	名称	場所
令和元年 5月30日～5月31日	赤十字奉仕団中央委員会	本社
令和2年2月10日	赤十字奉仕団徳島県支部委員会	徳島市
2月10日	市町村赤十字奉仕団委員長会議	徳島市

### ③ 研修会

開催年月日	名称	場所
令和元年 11月14日～15日	中国・四国ブロック赤十字奉仕団研修会	島根県

### ④ モデル奉仕団の指定

奉仕活動の充実と活性化を図るため、令和元年度の新規5団と2年目の5団は、地域に根ざした様々な活動を行った。

明るく住みよい町づくりのボランティア  
+ 美馬市地区赤十字奉仕団＆美馬市鷲町地区婦人会

**新しい仲間を募集しています！**

私たちの活動内容は、地域活性化、災害時における被災者支援、若者や女性が安心して暮らせる社会作りを目的に、地域の皆さんで入念的に活動をされています。また、婦人会女性の皆さんから、地域のあたたかさを感じさせてくれる活動を行っています。地域の声として、私たちと一緒に活動してもらいたいです。

**献血呼びかけ** **炊き出し活動** **AEDを使った講習**

**みんなさんの  
参加をお待ち  
しています！**

申込書

お問い合わせ  
申込書  
提出日 年 月 日  
ふりがな  
氏名 \_\_\_\_\_ 職業 \_\_\_\_\_ ( ) \_\_\_\_\_  
住所 \_\_\_\_\_

※この申込書を記入して、お住まいの地区の各事務局へお渡しください。  
〒770-0044 美馬市鷲町下仁田12番地  
TEL:088-631-6000 FAX:088-631-6100  
E-mail: [koboshi@kobe-shi.tokushima.jp](mailto:koboshi@kobe-shi.tokushima.jp) (美馬市地区赤十字奉仕団・美馬市鷲町地区婦人会)

団員募集リーフレット

ア 平成30年度～令和元年度指定（2年目5団）

地 区 名	奉 仕 团 名
徳 島 市	徳島市地区赤十字奉仕団新町分団
小 松 島 市	小松島市地区赤十字奉仕団立江分団
吉 野 川 市	吉野川市地区赤十字奉仕団
美 馬 市	美馬市地区赤十字奉仕団
南 部 部	南部地区牟岐町赤十字奉仕団



人道紙芝居読み聞かせ



献血推進活動



防災講習会



幼稚園児との交流



美化運動

イ 令和元年度～令和2年度指定（新規5団）

地 区 名	奉 仕 団 名
徳 島 市	徳島市地区赤十字奉仕団渭北分団
鳴 門 市	鳴門市地区赤十字奉仕団大麻分団
阿 南 市	阿南市地区赤十字奉仕団津乃峰分団
西 部 部	西部地区つるぎ町赤十字奉仕団
東 部 部	東部地区佐那河内村赤十字奉仕団

## ⑤ 「赤十字防災ひろば」の開催

地域赤十字奉仕団と学校・地域等が連携して、災害用移動炊飯器を活用した  
炊き出し体験や災害時の応急手当など“防災”をテーマとした体験学習を実施し、  
児童・生徒の「生きる力」を養うとともに、防災力の向上と意識の高揚を図った。  
なお、実施状況は次のとおりである。

### ア 実施状況

(人)

対象・主催等		参加者数
学校等	地域奉仕団	
昭和小学校	徳島市地区赤十字奉仕団昭和分団	73
森山小学校	吉野川市地区赤十字奉仕団鴨島分団	35
吉野川高校	吉野川市地区赤十字奉仕団鴨島分団	30
鳴門高校	鳴門市地区赤十字奉仕団斎田分団	45
管理栄養士実習生	阿南市地区赤十字奉仕団	50
計	5回	233

## (2) 青年赤十字奉仕団

若い力を集結して各種奉仕活動を展開するために県支部や中国四国ブロック主催の協議会や研修会に参加するとともに、献血キャンペーンや街頭募金活動などを積極的に実施した。

### ① 会議及び研修会等

開催年月日	行事名	場所
平成31年 4月20日～21日	平成31年度第1回中国四国学生献血推進協議会代表委員会	広島県
4月27日	青年赤十字奉仕団総会	支部事務局
令和元年 6月1日～2日	第5ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	愛媛県
7月13日	第2回中国四国学生献血推進協議会代表委員会	Web会議
8月22日～23日	令和元年度全国学生献血推進代表者会	福岡県
8月23日～25日	第5ブロック青年赤十字奉仕団研修会	鳥取県
10月20日～21日	令和元年度中国四国学生献血推進協議会研修会	広島県
12月15日	海外たすけあい街頭募金活動	徳島駅前
令和2年 2月15日～16日	第3回中国四国学生献血推進協議会代表委員会	広島県

## ② 主要奉仕活動

開催年月日	行 事 名	場 所
平成31年4月14日	春 の 献 血 キ ャ ン ペ ー ン	ゆめタウン徳島
令和元年 5月4日～6日	マ チ ★ ア ソ ビ 献 血	新町商店街アーケード 献血ルームアミコ
8月20日～22日	青少年赤十字徳島県リーダーシップ・ トレーニング・センター（小学校の部）	徳島市青少年 交流プラザ
7月3日		徳島大学常三島
7月11日		四 国 大 学
7月21日		ゆめタウン徳島
8月11日		献血ルームアミコ
10月13日、26日 27日	マ チ ★ ア ソ ビ （ 秋 ）	ゆめタウン徳島 藍 場 浜 公 園 献血ルームアミコ
11月1日～2日	令和元年度KEEP on LOOP活動 「 県 結 隊 」	岡 山 県 立 大 学
11月9日	献 血 セ ミ ナ 一	四 国 大 学
12月5日、15日	令 和 元 年 度 ク リ ス マ ス 献 血 キ ャ ン ペ ー ン 2019	文 理 大 学 ゆめタウン徳島
令和2年2月23日	令 和 元 年 度 「 は た ち の 献 血 」 キ ャ ン ペ ー ン	ゆめタウン徳島
通 年	学 内 献 血	四 国 大 学 徳島大学常三島キャンパス

## (3) 特殊赤十字奉仕団

各特殊赤十字奉仕団がそれぞれの技術や特技、  
能力を活かして特色のある活動を展開した。

なお、活動状況は次のとおりである。



血液輸送等を想定した  
バイク奉仕団走行訓練

## ① 会議及び研修等

開催年月日	行 事 名	場 所	奉 仕 団 名
平成31年 4月14日	救急法奉仕団総会及び研修会	徳島赤十字病院	赤十字救急法奉仕団
令和元年 5月14日	青少年赤十字賛助奉仕団総会	支 部 事 務 局	青少年赤十字賛助 奉 仕 団

開催年月日	行 事 名	場 所	奉 仕 団 名
5月23日	看護奉仕団総会及び研修会	支部事務局	赤十字看護奉仕団
6月2日	バイク奉仕団総会及び研修会	徳島中央自動車教習所	赤十字バイク奉仕団
6月9日	アマチュア無線奉仕団総会及び研修会	支部事務局	赤十字アマチュア無線奉仕団
6月14日	水上安全法奉仕団総会及び研修会	支部事務局	赤十字水上安全法奉仕団
10月10日～11日	中国・四国ブロック青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会・研修会	徳島市シビックセンター鳴門市ドイツ館	青少年赤十字賛助奉仕団
10月23日	赤十字の集い	あわぎんホール	特殊奉仕団
11月1日	救護救援奉仕団総会及び研修会	支部事務局	赤十字救護救援奉仕団
12月8日	船舶奉仕団総会及び研修会	寂聴桟橋 イオンモール前桟橋	赤十字船舶奉仕団

## 5 青少年赤十字

青少年赤十字（JRC）は、児童・生徒が赤十字精神に基づき、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切にし、地域社会、国家・世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的としている。

未来を担う青少年赤十字リーダーを養成するために、多数の参加者を得て「リーダーシップ・トレーニング・センター」を開催するとともに、献血キャンペーンや街頭募金等の各種ボランティア活動の実施、また地域・賛助奉仕団の協力のもと福祉体験学習や炊き出し訓練を各学校で積極的に実施し、青少年赤十字活動の活性化を図った。



海外たすけあい募金活動  
を行うJRCメンバー

### (1) 青少年赤十字の加盟促進等

「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標を掲げる青少年赤十字を普及するため、県下の幼稚園を対象に加盟促進を図った。

① 徳島県の加盟校数、加盟メンバー数

校種別	加盟校数(校)		加盟メンバー数(名)					
	令和元年度	平成30年度	男		女		計	
			令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度
幼稚園	6	1	192	65	173	65	365	130
小学校	163	162	16,667	16,902	16,455	16,495	33,122	33,397
中学校	84	84	8,653	9,184	8,540	8,871	17,193	18,055
高等学校	34	34	410	656	611	784	1,021	1,440
特別支援学校	11	11	169	182	69	71	238	253
計	298	292	26,091	26,989	25,848	26,286	51,939	53,275

② 令和元年度青少年赤十字加盟校一覧表

令和元年度新規加盟校 令和2年3月31日現在

区分 都市	幼稚園	小学校	中学校
徳島市	八万・上八万・鳴大附属	内町・新町・佐古・富田・福島・城東・助任・津田・昭和・沖州・加茂名・加茂名南・八万・八万南・千松・大松・論田・方上・宮井・渋野・不動・上八万・一宮・入田・川内北・川内南・応神・国府・南井上・北井上・鳴大附属	徳島・城西・富田・城東・津田・加茂名・八万・南部・不動・上八万・入田・川内・応神・国府・北井上・鳴大附属・徳島文理・城ノ内
鳴門市		撫養・林崎・桑島・鳴門市第一・里浦・鳴門東・鳴門西・明神・大津西・堀江北・堀江南・板東・黒崎	鳴門市第一・鳴門市第二・鳴門・瀬戸・大麻・大麻広塚分校
小松島市		小松島・南小松島・北小松島・千代・児安・芝田・立江・櫛渕・坂野・和田島・新開	小松島・小松島南
阿南市		中野島・横見・富岡・宝田・大野・長生・見能林・津乃峰・桑野・山口・吉井・橋・福井・椿・伊島・新野・新野東・今津・平島・羽ノ浦・岩脇・椿泊	阿南・阿南第一・阿南第二・加茂谷・福井・椿町・伊島・那賀川・羽ノ浦・富岡東・新野
吉野川市		上浦・牛島・森山・飯尾敷地・知恵島・川島・学島・山瀬・鴨島・高越	鴨島東・鴨島第一・川島・県立川島・山川
阿波市		御所・土成・久勝・伊沢・林・一条・市場・八幡・大俣	吉野・土成・市場・阿波
美馬市		江原南・江原北・脇町・岩倉・美馬・三島・穴吹・木屋平	江原・脇町・美馬・三島・穴吹・木屋平・岩倉
三好市		王地・芝生・箸蔵・池田・白地・馬路・三縄・山城・下名・辻・西井川・櫟生・吾橋・東祖谷	三野・池田・山城・井川・東祖谷・西祖谷
勝浦郡		生比奈・横瀬・上勝	勝浦・上勝
名東郡		佐那河内	佐那河内
名西郡		石井・浦庄・藍畑・広野・神領	石井・高浦・神山
那賀郡		鷺敷・相生・木頭・平谷	鷺敷・相生・木頭
海部郡		牟岐・日和佐・伊座利・海部・由岐・海南・宍喰	牟岐・日和佐・由岐・海陽・宍喰・由岐伊座利分校

区分 都市	幼稚園	小学校	中学校
板野郡	北島・神宅・高志	長原・松茂・喜来・北島北・北島・北島南・藍住北・藍住南・藍住西・藍住東・板野東・板野東大坂分校・板野西・板野南・神宅・東光・松島・高志	松茂・北島・藍住東・藍住・板野・上板
美馬郡		半田・太田・貞光	半田・貞光
三好郡		足代・昼間・加茂・三庄	三加茂・三好

幼稚園計6校(新規5校)

小学校計 163校(新規1校)

中学校計 84校

高等学校	城東・城南・城北・城ノ内・徳島北・徳島市立・城西・科学技術・徳島商業・徳島文理・徳島中央・小松島・小松島西・小松島西勝浦校・富岡東・富岡東羽ノ浦校・富岡西・阿南光・那賀・海部・鳴門・鳴門渦潮・板野・名西・川島・阿波・阿波西・穴吹・脇町・つるぎ・池田・池田三好校・池田辻校・吉野川	34校 (新規0校)
特別支援学校	視覚支援・聴覚支援・国府支援・池田支援・池田支援美馬分校・鴨島支援・ひのみね・阿南支援・鳴大附属特別支援・板野支援・みなと	11校 (新規0校)

合計 298校

## (2) 会議及び研修会

### ① 本社主催

開催年月日	行事名	場所
令和元年 6月24日～25日	青少年赤十字全国指導者協議会総会	日本赤十字社 日本
11月23日	青少年赤十字指導者中央講習会	日本赤十字社 日本
令和2年1月9日	青少年赤十字研究会	日本赤十字社 日本

### ② 中・四国ブロック主催

開催年月日	行事名	場所
令和元年 10月17日～18日	中・四国ブロック青少年赤十字指導者協議会長並びに事務担当者会議	愛媛県

### ③ 支部及び指導者協議会主催

開催年月日	行事名	場所
令和元年5月14日	青少年赤十字指導者協議会総会	支部事務局
6月6日	青少年赤十字指導者研修会	支部事務局
7月8日	リーダーシップ・トレーニング・センター事前打合会(中学校の部)	支部事務局
7月17日	リーダーシップ・トレーニング・センター事前打合会(高等学校の部)	支部事務局

開催年月日	行事名	場所
令和元年8月6日	リーダーシップ・トレーニング・センター事前打合会（小学校の部）	支部事務局
令和2年3月18日	青少年赤十字指導者協議会役員・常任幹事会	支部事務局

#### ④ 高等学校JRC協議会主催行事

開催年月日	行事名	場所
令和元年6月23日	青少年赤十字高等学校協議会総会	とくぎんトモニプラザ
12月15日	青少年赤十字高等学校協議会学習会 海外たすけあい街頭募金活動	内町コミュニティーセンター 徳島駅前
令和2年3月7日 (中止)	青少年赤十字高等学校協議会学習会 及びJRC春の献血キャンペーン	献血ルームアミコ・ 徳島駅前

#### ⑤ リーダーシップ・トレーニング・センター

集団生活を通して、赤十字や青少年赤十字に関する知識や技術を学ぶことにより、自主・自立の精神を身につけたリーダーを養成することを目的として校種ごとに実施した。

参加者募集にあたっては、トレーニング・センター（トレセン）の意義やプログラムの内容等を掲載したチラシを校種別に作成し、青少年赤十字加盟校を通じて各家庭へ配付することにより参加者の確保を図るとともに、保護者にトレセンや青少年赤十字活動への理解促進を図った。

#### ア 期間・参加状況

校種	実施月日	参加校数 (校)	参加メンバー(名)			特別参加指導者 (名)	本部スタッフ(名)	
			男	女	計		指導者	協助員
小学校	令和元年 8月20日 ～22日	25	17	27	44	37	9	3
中学校	7月23日 ～24日	15	17	29	46	18	4	0
高等学校	8月2日 ～4日	5	0	11	11	7	3	2
計		45	34	67	101	62	16	5



トレセンの意義や内容等をまとめた参加者募集チラシ

イ 会 場 日本赤十字社徳島県支部（中学校の部）  
徳島市立青少年交流プラザ（小学校の部）（高等学校の部）



AEDを使った一次救命処置を行った中学生メンバー



避難所運営体験を行う高校生メンバー

### (3) 青少年赤十字国際支援学習の実施

青少年赤十字加盟校を対象に「青少年赤十字国際支援学習」を実施し、数々の海外での救護活動経験のある赤十字国際救護員（徳島赤十字病院看護師）が紛争や貧困で苦しむ海外の子供たちの現状と赤十字の国際活動について、実体験を交えて紹介することにより、人道精神の普及と国際社会への理解促進を図った。

### (4) 「青少年赤十字防災教育プログラム」を活用した防災教育の推進

授業ですぐ使える防災教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」を活用した防災教育プログラムを加盟校で推進し、児童・生徒の防災意識の高揚を図るとともに、リーダーシップ・トレーニング・センターのプログラムにも取り入れ、「自分の命は自分で守ること」に注力した取り組みを推進した。



「まもるいのちひろめるぼうさい」で防災学習を行うJRCメンバー

### (5) 書き損じはがき収集活動実施状況

第 25 回受 付分	受 付 枚 数	97枚
	換 金 額	5,648円
	協 力 校 数	2校

※ 参考 第1回から第25回までの累計

受付枚数 47,363枚 換 金 額 2,135,424円

## (6) 青少年赤十字活動資金（1円玉募金）

受付件数	13件
募金額	58,259円
協力校	千松小学校、応神小学校、加茂名南小学校、新野東小学校、八万小学校、徳島中学校、鳴門教育大学附属中学校、佐那河内小中学校、小松島高等学校、徳島商業高等学校、城ノ内高等学校、板野高等学校、海部高等学校

※ エコキヤップ等換金分を含む

## (7) 青少年赤十字優良児童・生徒表彰状況

校種別	学校数(校)	メンバーナンバー(名)
小学校	7	12
中学校	2	4
高等学校	14	25
計	23	41

## 6 國際活動

自然災害や紛争等による被災者・犠牲者を支援するために、日本赤十字社本社や中国・四国各県支部と連携した国際活動を展開した。

### (1) 中東地域紛争犠牲者支援事業（ヨルダン）への救護員の派遣

ヨルダンでは、2011年のシリア危機以降、65万人以上のシリア人難民を受け入れており、日本赤十字社では、2015年から職員をヨルダンに派遣し、保健事業を行っている。

シリア人難民の健康管理及び疾病予防を目的とする、現地における地域住民参加型の保健事業（CBHFA:Community Based Healthand First Aid）の保健要員とし、平成31年1月8日～令和元年9月5日まで、当支部から勝占智子救護員（徳島赤十字病院看護師）を派遣した。



現地の子供たちに食べ物を配る勝占救護員

### (2) アジア・大洋州地域に対する給水・衛生活動の支援

アジア・大洋州地域においては、洪水やサイクロン災害による被害が増大し、災害時の給水・衛生活動のニーズが高まっていたことから、中国・四国各県支部と共同で浄水器やタンク、水質検査キット、簡易トイレ用資材、衛生教育用文房具等をセットにした「給水・衛生キット」を配備するための援助を行った。

### (3) NHK海外たすけあい寄附金募集

世界各地で多発する自然災害や地域紛争等による犠牲者の緊急救援、及び開発途上国赤十字社の行う保健衛生、災害対策事業等の開発協力をを行うために寄附金募集を実施した。

なお、募集状況については次のとおりである。

令和元年度「NHK海外たすけあい」の実績表

区分	件数 (件)	金額 (円)	(前年度) (円)	伸び率 (%)	区分	件数 (件)	金額 (円)	(前年度) (円)	伸び率 (%)
本 社	2,605	113,660,179	158,207,119	71.8	滋 賀 県	1,473	6,173,083	5,210,406	118.5
北 海 道	2,800	13,818,519	10,244,389	134.9	京 都 府	1,607	11,379,734	7,756,128	146.7
青 森 県	360	3,948,864	2,503,148	157.8	大 阪 府	3,621	35,180,391	36,186,752	97.2
岩 手 県	1,073	4,951,403	5,058,841	97.9	兵 庫 県	2,733	19,449,813	18,620,736	104.5
宮 城 県	1,958	8,470,462	7,050,880	120.1	奈 良 県	749	5,588,693	5,059,123	110.5
秋 田 県	420	3,623,860	3,288,581	110.2	和 歌 山 県	1,534	6,486,088	6,902,705	94.0
山 形 県	364	3,573,056	2,493,043	143.3	鳥 取 県	236	2,317,940	2,297,841	100.9
福 島 県	858	9,999,665	11,060,749	90.4	島 根 県	1,652	3,269,477	3,329,546	98.2
茨 城 県	1,284	8,525,804	7,486,580	113.9	岡 山 県	695	6,604,880	5,412,675	122.0
栃 木 県	3,013	4,957,871	4,635,046	107.0	広 島 県	2,550	18,222,122	133,390,270	13.7
群 馬 県	869	6,512,095	5,203,939	125.1	山 口 県	1,618	6,312,885	6,505,425	97.0
埼 玉 県	2,233	23,649,206	26,345,016	89.8	徳 島 県	391	5,098,368	3,914,926	130.2
千 葉 県	2,538	21,345,560	14,539,623	146.8	香 川 県	400	3,849,721	3,492,867	110.2
東 京 都	5,372	65,942,283	66,944,628	98.5	愛 媛 県	1,465	4,592,865	10,023,102	45.8
神 奈 川 県	4,237	42,795,565	28,462,553	150.4	高 知 県	915	3,029,450	3,014,084	100.5
新 潟 県	1,775	8,878,861	8,094,763	109.7	福 岡 県	2,995	15,432,709	14,973,578	103.1
富 山 県	1,042	12,972,586	10,189,813	127.3	佐 賀 県	426	3,811,756	2,983,768	127.7
石 川 県	584	7,109,888	5,991,285	118.7	長 崎 県	490	4,050,073	3,276,573	123.6
福 井 県	880	6,208,023	5,066,572	122.5	熊 本 県	2,336	8,567,205	5,205,409	164.6
山 梨 県	336	5,115,624	4,979,296	102.7	大 分 県	1,153	5,479,472	4,059,180	135.0
長 野 県	1,370	10,365,142	10,910,867	95.0	宮 崎 県	366	3,588,942	2,958,174	121.3
岐 阜 県	804	9,969,369	8,579,162	116.2	鹿 児 島 県	778	5,262,170	4,066,218	129.4
静 岡 県	1,701	16,632,078	12,429,743	133.8	沖 繩 県	501	4,582,047	4,781,872	95.8
愛 知 県	6,034	41,520,906	34,994,051	118.7	合 計	11,167	656,561,824	756,095,488	86.8
三 重 県	1,973	13,685,071	7,914,443	172.9					

#### (参考)

最近における「NHK海外たすけあい」の最終実績

平成23年度（第29回）533,842,280円 平成27年度（第33回）715,267,248円

平成24年度（第30回）700,242,272円 平成28年度（第34回）635,829,119円

平成25年度（第31回）572,957,357円 平成29年度（第35回）704,476,254円

平成26年度（第32回）605,075,037円 平成30年度（第36回）756,095,488円

## IV 一般会計決算状況

### 1 総括

区分	当初予算額	補正予算額	計	決算額	予算に比し増減
歳入	204,567,000円	40,223,000円	244,790,000円	258,329,602円	13,539,602円
歳出	204,567,000	40,223,000	244,790,000	212,540,267	△32,249,733
歳入歳出差引繰越額			45,789,335円		

#### (1) 歳入

科目	令和元年度 決算額	平成30年度 決算額	増減	対前年 度比
1 支部収入	258,329,602円	321,025,759円	△62,696,157円	80.5%
(1) 社資収入	197,756,165	266,813,020	△69,056,855	74.1
(2) 委託金等収入	593,790	237,833	355,957	249.7
(3) 補助金及び交付金収入	4,555,220	3,994,834	560,386	114.0
(4) 資産収入	0	0	0	—
(5) 繰入金収入	262,500	247,500	15,000	106.1
(6) 雑収入	1,601,440	1,558,271	43,169	102.8
(7) 前年度繰越金	53,560,487	48,174,301	5,386,186	111.2

(小数第2位四捨五入)

#### (2) 歳出

科目	令和元年度 決算額	平成30年度 決算額	増減	対前年 度比
1 支部費	212,540,267円	267,465,272円	△54,925,005円	79.5%
(1) 災害救護事業費	12,615,404	21,495,659	△8,880,255	58.7
(2) 社会活動費	29,001,114	26,255,303	2,745,811	110.5
(3) 国際活動費	878,901	825,928	52,973	106.4
(4) 指定事業地方振興費	1,075,000	1,065,000	10,000	100.9
(5) 地区分区交付金支出	11,456,167	11,446,009	10,158	100.1
(6) 社業振興費	27,374,150	28,341,522	△967,372	96.6
(7) 基盤整備交付金・補助金支出	25,020,000	19,950,000	5,070,000	125.4
(8) 積立金支出	37,895,422	84,663,439	△46,768,017	44.8
(9) 総務管理費	32,156,756	30,693,680	1,463,076	104.8
(10) 資産取得及び資産管理費	5,565,179	3,166,529	2,398,650	175.8
(11) 本社送納金支出	29,502,174	39,562,203	△10,060,029	74.6

(小数第2位四捨五入)

## 2 社会福祉施設特別会計（本部会計拠点区分）決算状況

### (1) 総 括

区分	当初予算額	補正予算額	計	決算額	予算額に比し増減
収入	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円

区分	当初予算額	補正予算額	計	決算額	不 用 額
支出	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円

収入支出差引額 0 円

### (2) 前期末支払資金残高

前期末支払資金残高	0 円
-----------	-----

